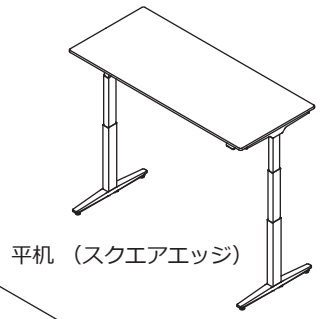
Swift Nex

デスク［スイフト ネックス］

取扱説明書

ご使用前にこの説明書を必ずお読みください。
また、必要なときにいつでも見られるところに保管してください。

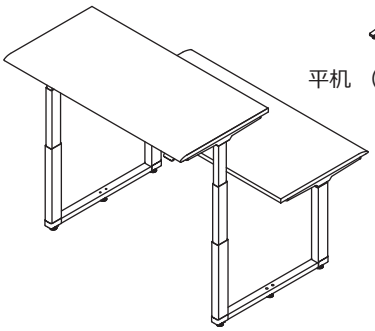
製品コード	製品名	
342A□□	平机	スタンダードストロークタイプ
342B□□	平机	ショートストロークタイプ
342E□□	ベンチ	スタンダードストロークタイプ
342F□□	ベンチ	ショートストロークタイプ
342GG□	L型デスク	スタンダードストロークタイプ
342GGE	120°型デスク	スタンダードストロークタイプ
342H□□	テーブル	ショートストロークタイプ



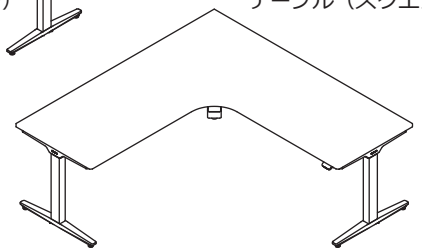
平机 （スクエアエッジ）



テーブル（スクエアエッジ）



ベンチ（スムースフォルムエッジ）



L型デスク（スムースフォルムエッジ）

1．安全にお使いいただくために ・・・・・・ p1
2．末永くお使いいただくために ・・・・・・ p3
3．各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p4
4．ご使用方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p5
5．お手入れ方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p19
6．仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p20

okamura

はじめに

このたびはオカムラ製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
納品書や領収書など購入履歴が分かるものを大切に保管してください。
また、この説明書の内容をよく理解されたうえでご使用ください。

危害レベルについての説明

この説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、危害・損害の程度を表示しています。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負うことが想定されます。
⚠ 注意	誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定されます。

図記号についての説明

この説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしております。その表示と意味は次のようになっています。

△ 注意マークは、警告や注意をうながしていることを表しています。

⊘ 禁止マークは、してはいけないことを表しています。

● 指示マークは、そうしなければならないことを表しています。

注意喚起ラベルについての説明

この製品には注意喚起ラベルが貼ってありますので、注意事項を守ってご使用ください。
ラベルは絶対に破ったり、傷つけたり、字を消したり、剥がしたりしないでください。

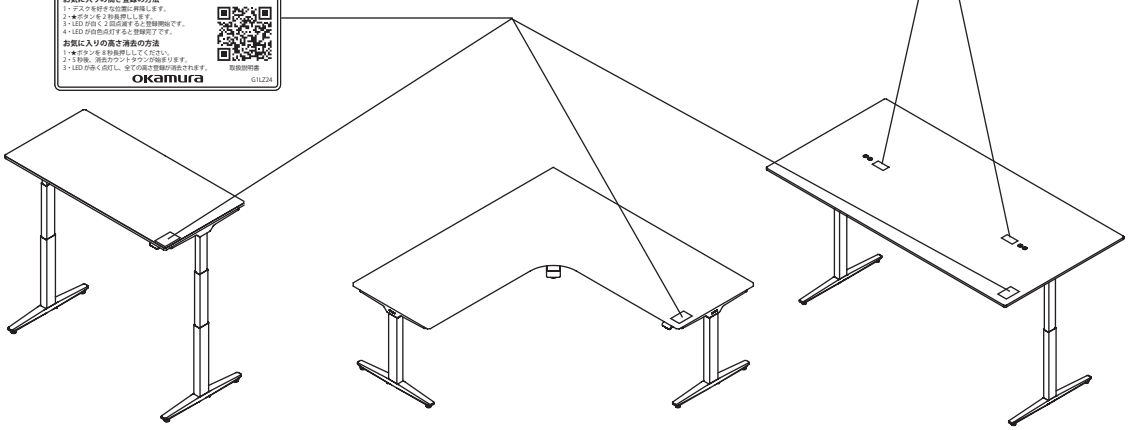
［ラベルの貼り付け場所］

平机・テーブル：天板（スイッチ側手前）



テーブル（コンセント埋め込み）：天板（コンセント横）





目次

1．安全にお使いいただくために……p1

2．末永くお使いいただくために……p3

取扱い上の注意 …… p3
ご使用に関するお願い …… p3

3．各部の名称……p4

平机 …… p4
平机オプション …… p4
ベンチタイプ …… p5
ベンチタイプオプション …… p5
L 型デスク・120°型デスク …… p6
L 型デスク・120°型デスクオプション …… p6
テーブル …… p7
テーブルオプション …… p7

4．ご使用方法……p8

アジャスターの調整 …… p8
左右スペーサーと対向連結材 …… p8
サイドパネルのスライド方法について …… p9
配線トレーの着脱方法 …… p9
平机の電源タップ設置方法 ……p10
コンセント埋め込み天板（テーブル）について ……p10
天板昇降及びスイッチの操作 ……p11
セーフティリバース機能 ……p16
エラーコード一覧 ……p17

5．お手入れ方法…… p19

日常のお手入れ ……p19
定期的なメンテナンスのお願い ……p19
アフターメンテナンス ……p19

6．仕様 …… p20

寸法 ……p20
主な材質と表面加工 ……p34
スペック ……p36

1．安全にお使いいただくために

下記の安全上の注意をお守りいただけない場合、傷害を負う可能性があります。
お客様の安全のため、性質を理解した上で、正しくご使用ください。

⚠警告



発火や火災の恐れがありますので、以下のことがらを必ずお守りください。

- 本製品のコンセントはノートパソコンなどの充電用です。容量を超えてのご使用やたこ足配線はしないでください。
- 本製品の電源プラグやコンセント周りのゴミやほこりは定期的に取り除いてください。
- 本製品の電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。



感電の恐れがありますので、濡れた手で触れないでください。

- 濡れた手で本製品のコンセントの抜き差しをしないでください。



危険ですので、お客様での分解・修理はしないでください。

- 異常を感じた場合はすぐに電源プラグを抜いて使用を中止し、弊社窓口までご連絡ください。

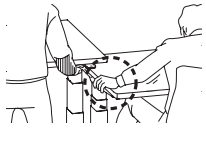


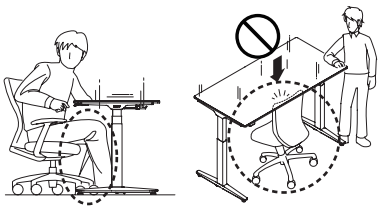
- デスクの天板下にワゴンを収納する際、ワゴンの上部天板に指や手をかけないでください。スキマに挟まれてけがをする恐れがあります。

⚠注意

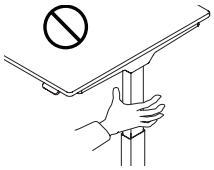
挟まれるなどしてケガをする恐れがありますので、以下のことがらを必ずお守りください。

- 昇降操作をするときは天板の周囲、特に下に物が無いことを確認してください。





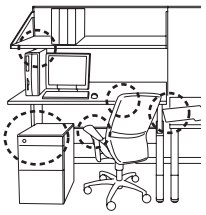
- 昇降操作をするときは天板の下にもぐったり、足や手を入れたりしないでください。
- 昇降操作中は周囲の人に十分注意してください。



- 昇降操作中は脚などの可動部には絶対に触れないでください。



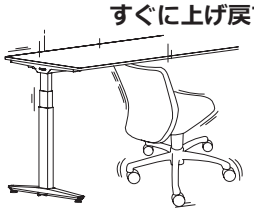
- 天板を上げるときは天板上方に設置された棚等に、天板や机上面に設置されたものが　ぶつからないよう十分に注意してください。また、壁面に取り付いている掲示物などは　取り除いてから行ってください。破損の原因となります。



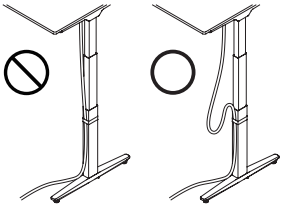


すぐに上げ戻す

- 天板を下げるときは天板下のワゴンやイス、その他のものを取り除いてから行ってください。破損や故障の原因となります。



- 天板を下げているときに誤ってイス（特に背や肘）やワゴンなどにあたった場合は、即座に操作を中止し、天板を上げ戻してください。転倒や破損の恐れがあります。
- 電源などのケーブル類は、天板最大高さでの使用状況において十分なケーブル長さのものを使用してください。また、天板昇降時に絡まったり、引っ掛かったりしないよう注意してください。断線や機器転倒の恐れがあります。



1．安全にお使いいただくために

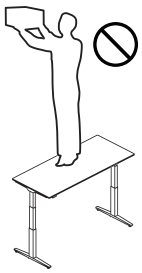
⚠注意

製品の破損によるケガの恐れがありますので、以下のことがらを必ずお守りください。
- 乱暴な取扱いや用途以外のご使用は避けてください。
- ボルトやねじが緩んだ状態や部品が外れた状態、故障した状態で使用しないでください。
- 分解・修理・改造はしないでください。

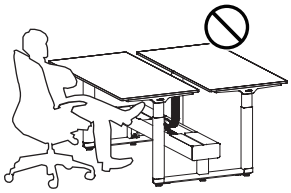
製品の転倒によるケガの恐れがありますので、以下のことがらを必ずお守りください。
- 天板には最大積載質量より重いものを載せたり収納したりしないでください。
- 天板にものを載せる時は、静かに載せてください。また、天板の角に重いものを載せないでください。
- 製品にもたれたり、ぶらさがったり、腰かけたりしないでください。
- パネルにぶら下がったり、寄りかかったりしないでください。



落下によるケガの恐れがありますので、以下のことがらを必ずお守りください。
- 製品を踏み台がわりにしないでください。
- 座面には立たないでください。
- 製品の上に座ったり、乗ったりしないでください。



配線ダクトに脚を置かないでください。

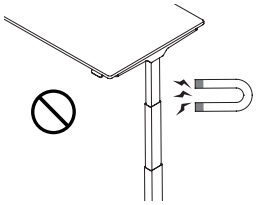


指はさみによるケガの恐れがありますので、以下のことがらを必ずお守りください。
- スキマや可動部には手や指を入れないでください。

室内の化学物質濃度が高まりますので、適切な換気を行ってください。
- 購入当初は、化学物質の発散が多いことがありますので、しばらくの間は換気や通風を十分に行うようにしてください。環境基準はクリアしていますが個々人の体質により化学物質に過敏に反応する場合があります。
- 室内が著しく高温多湿となる場合（温度28℃、相対湿度50%超が目安）には、窓を閉め切らないようにしてください。

レイアウト時と運搬は次項のことを守ってください。
- 隣り合う机や壁等、間隔を空けて置いてください。可動時に指や物が挟まる恐れがあります。
- 左右スペーサーは必ず使用してください。可動時に指や物が挟まる恐れがあります。
- デスクの上にあるものは取り除いてください。
- 段差や溝を乗り越える場合は、必ず2人以上で持って運んでください。
- 移動の際は、周辺に障害物や危険が無いか十分に確認してください。
- 対向連結材は必ず取り外してください。
- ものを載せたまま本製品を移動させないでください。
- 移動の際は引出しの中のものは取り出し、施錠してください。また、鍵がない引出しはテープなどで固定してください。
- 移動の際は引きずらないでください。2人以上で持ち上げて運んでください。
- 移動は必ず長手方向に行ってください。

磁力の強いマグネットを昇降脚やコントロールボックス付近へ近づけないでください。誤動作の原因となります。



2. 末永くお使いいただくために

下記の取扱い上の注意をお守りいただけない場合、故障等による損害や不具合が発生する恐れがあります。
また、その場合の責任は弊社としては負いかねます。

取扱い上の注意

変形などの原因となるので、設置の際は以下のことがらにご注意ください。

- 変形や日焼けによる変色の原因になるので、直射日光の当たる場所は避けてください。窓際などへ設置する場合は、常にカーテンやブラインドなどで直射日光を遮るようにしてください。
- 変形や変色の原因になるので、ストーブややかんなど、熱を発するものを近づけないでください。
- 変形や変色の原因になるので、天板の上には、加熱した鍋、湯沸かし等を直接置かないでください。
- 反り・カビ・錆の発生などの原因となるので、屋外では使用しないでください。屋内で使用してください。
- 反り・カビ・錆の発生などの原因となるので、水のかかるところ等では使用しないでください。
- 変形や変色、カビの原因になるので、室内が著しく高温多湿となる場合（温度28℃、相対湿度50%超が目安）には、窓を閉め切らないようにしてください。

本体の歪み、可動部の不良の原因となるので、以下のことがらにご注意ください。

- 本体を水平に保つようにしてください。
- アジャスターにより、床面と天板の水平を保つように調整してください。

ご使用に関するお願い

天板面について

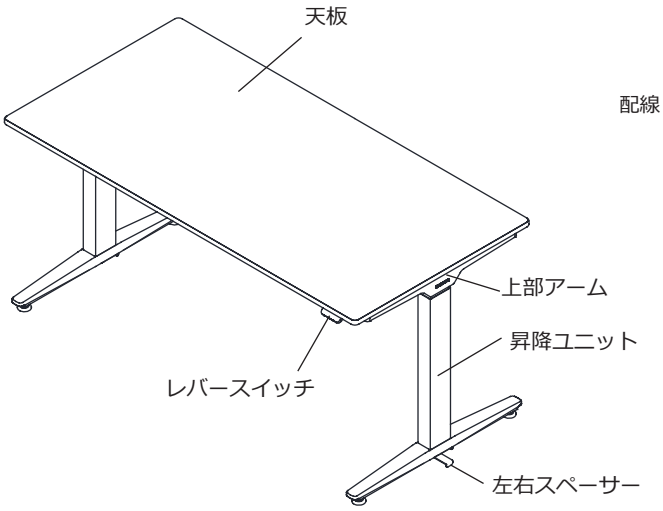
- マウスなどによる擦れは、天板に艶上がりを生じさせ、色味が変わって見えることがあります。日常的に擦れが発生する作業を行う場合、パッドなどの保護シートの利用をお願いします。

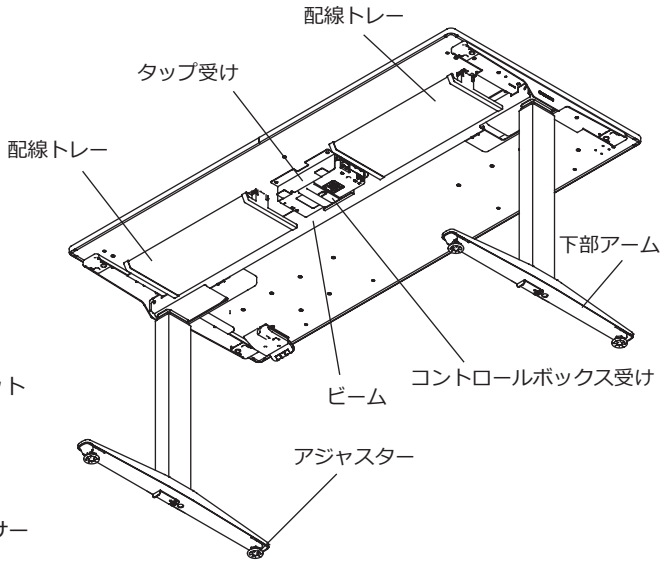
マグネットについて（電源タップ・縦ダクト）

- 磁気の影響を受けやすい電子機器（PC・スマートフォン・磁気カード・時計など）に近づけないでください。機器の故障やデータ消失などの原因となります。
- マグネットが吸着できる平滑な金属面に使用してください。凹凸面や湾曲した面、埃・油分・水分の付着した面には使用できません。
- マグネットには金属片などが付着しますので、清掃してから使用してください。
- マグネットは錆びると磁力が弱まり、十分な吸着力が確保できなくなります。高温多湿となる環境で使用しないでください。

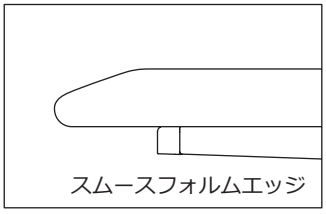
3. 各部の名称

平机

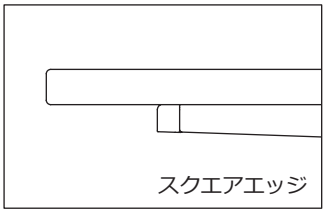




【天板エッジタイプ】



【天板エッジタイプ】



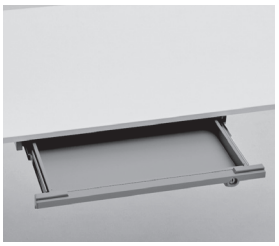
平机オプション



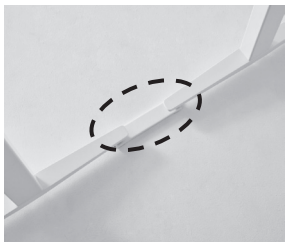
ディスプレイアーム



電動昇降デスク用ワゴン



中央引き出し



対向連結材



フェルトケース



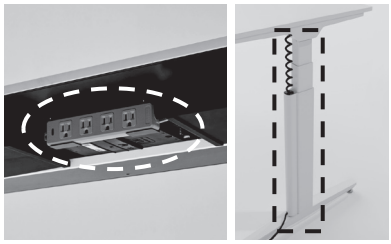
PC・カバン収納



ケーブルガイド
（縦ダクト付き）



ケーブルガイド
（メッシュ）



カールコード電源タップ
（縦ダクト付き）



スチールパネル



クロスパネル



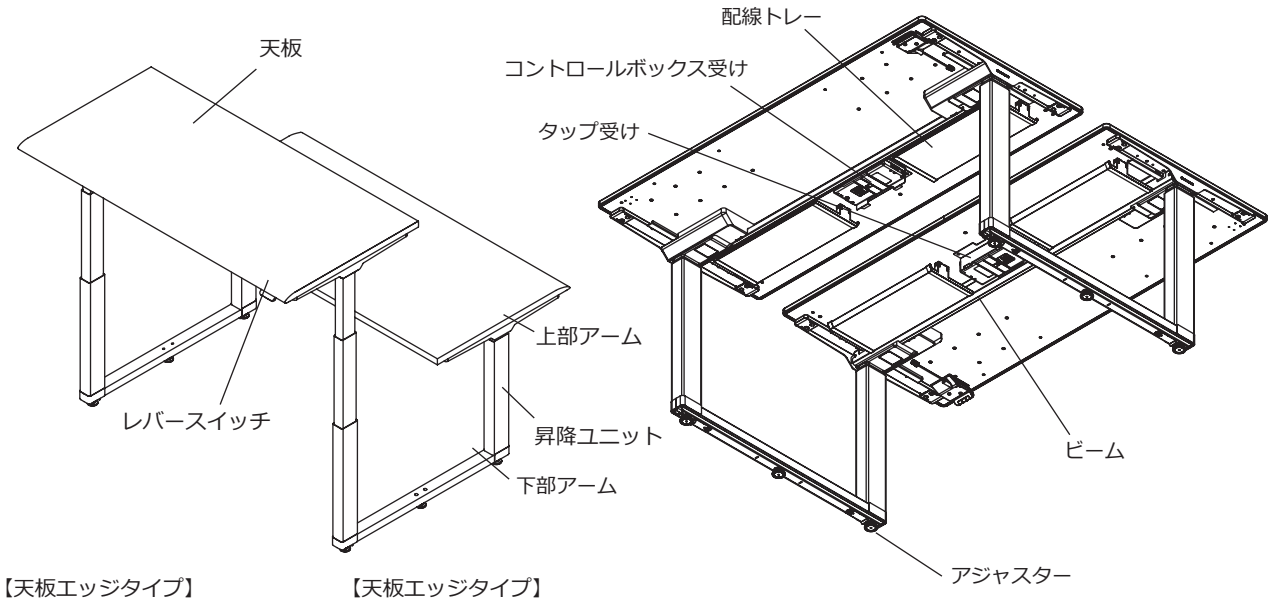
フロアパネル



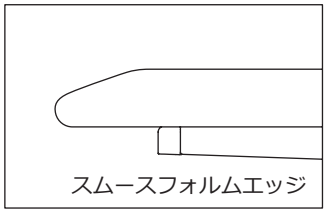
フロアパネル用配線ダクト

3. 各部の名称

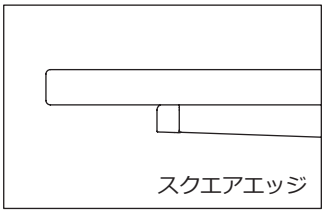
ベンチ



【天板エッジタイプ】



【天板エッジタイプ】



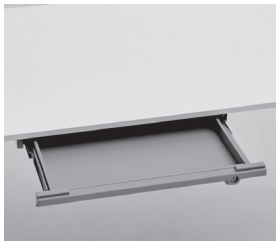
ベンチオプション



ディスプレイアーム



電動昇降デスク用ワゴン



中央引出し



フェルトケース



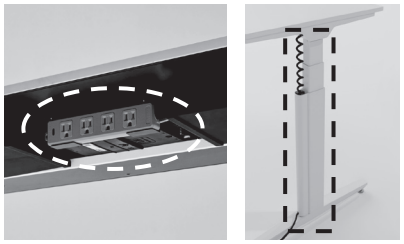
PC・カバン収納



ケーブルガイド
（縦ダクト付き）



ケーブルガイド
（メッシュ）



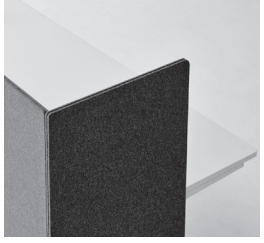
カールコード電源タップ
（縦ダクト付き）



配線ダクト



スチールパネル



クロスパネル



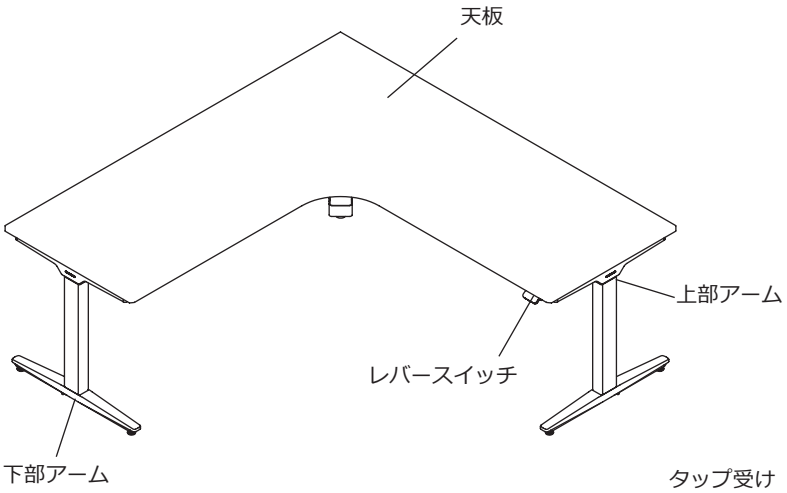
配線ダクト付きセンターパネル

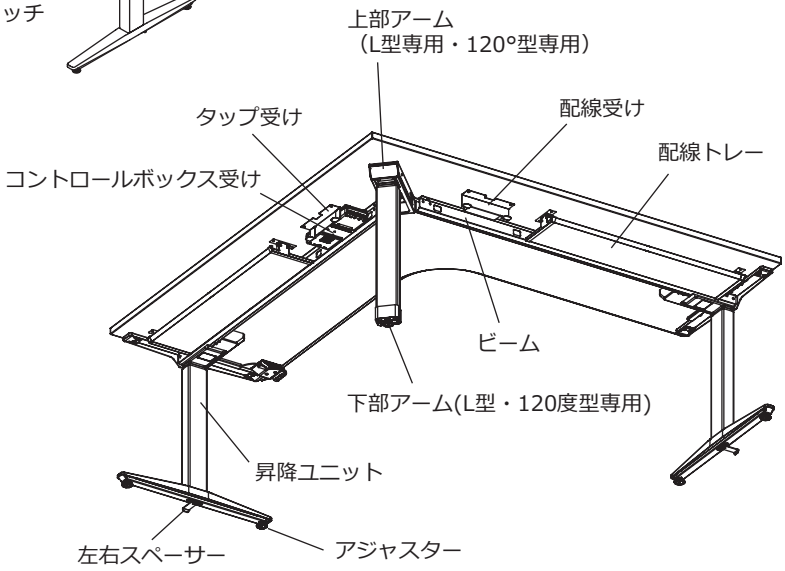


センターパネル

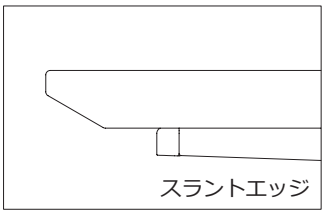
3. 各部の名称（続き）

L型デスク・120°型デスク





【天板エッジタイプ】



L型・120°型オプション

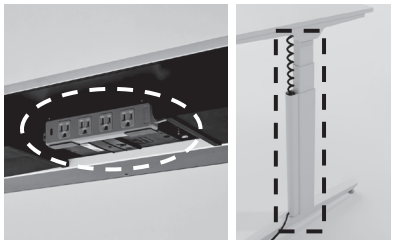

中央引き出し

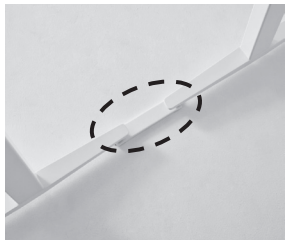

フェルトケース


PC・カバン収納

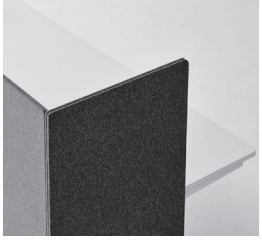

ケーブルガイド
（縦ダクト付き）


ケーブルガイド
（メッシュ）


カールコード電源タップ（マグネット付）
（縦ダクト付き）

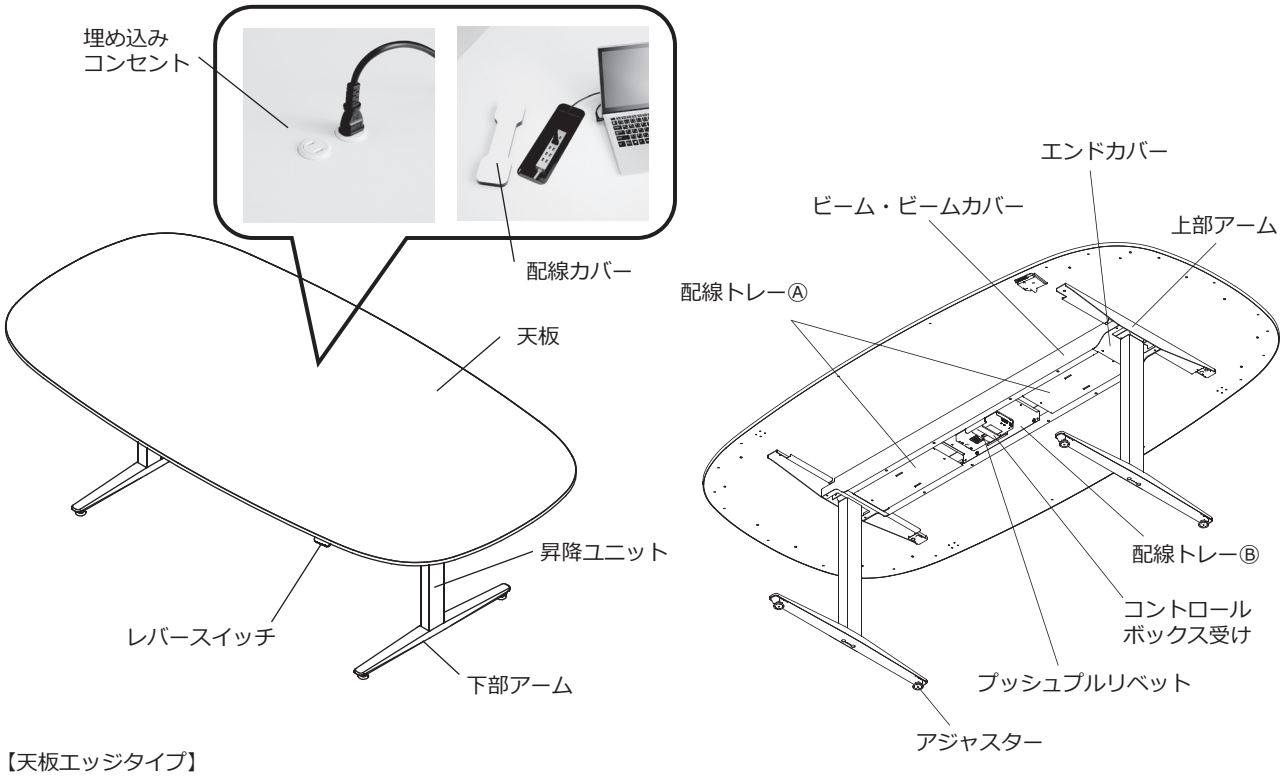

対向連結材


スチールパネル

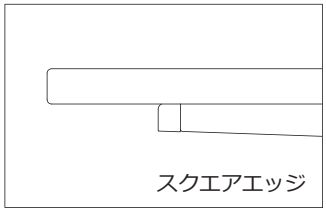

クロスパネル

3. 各部の名称（続き）

テーブル



【天板エッジタイプ】



テーブルオプション



立ち上げ配線ダクト



ディスプレイユニット



ディスプレイアーム



電動昇降デスク用ワゴン

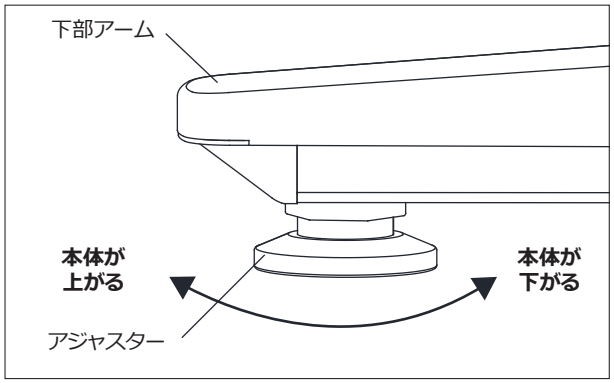
4. ご使用方法

アジャスターの調整

脚端のアジャスターを回すことにより、0～10mmの範囲でデスク高さを調整できます。設置の際にはこのアジャスターにより、床面と天板の水平を保つようお願いいたします。

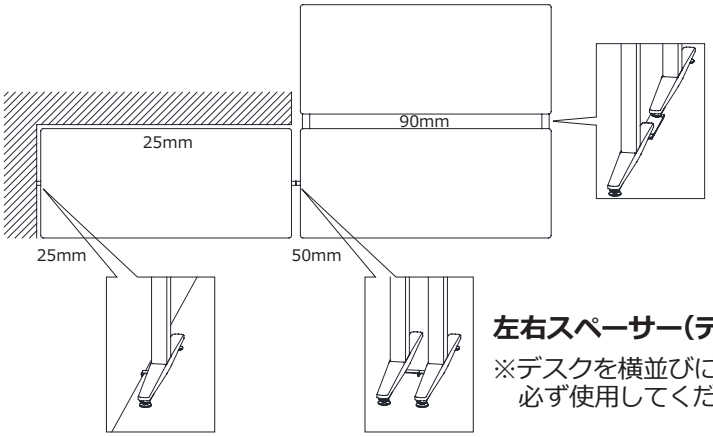
⚠注意

アジャスター調整作業は、手や指を挟まないように、必ず２人以上で行ってください。



左右スペーサーと対向連結材

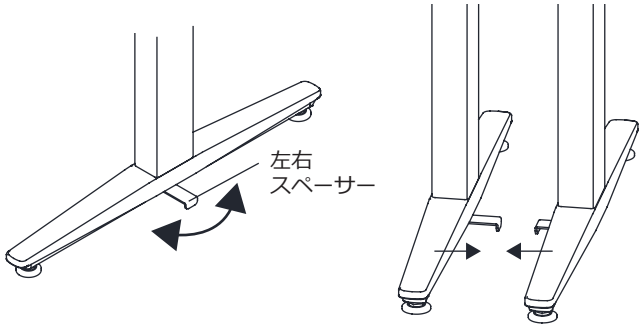
スペーサーや連結材は、デスクを壁際に設置するときやデスクを対向に並べたときに、一定の隙間を確保して指やケーブルを挟まないようにするためのものですので必ず使用してください。
左右スペーサ（標準装備）と対向連結材（オプション）があります。



対向連結材(オプション)
※対向レイアウトの時には
必ず使用してください。

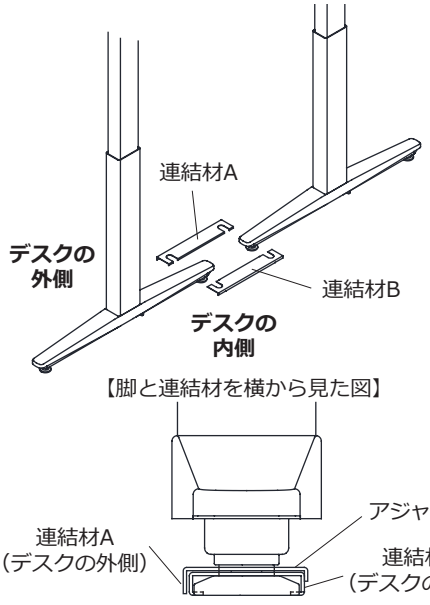
左右スペーサー(デスク標準)
※デスクを横並びにするとき､壁際に設置するときには
必ず使用してください。

左右スペーサー（標準装備）



左右スペーサーを使用する時は、脚の裏側に収納されていますので回転させて外に出します。
スペーサー同士が当たるように設置します。

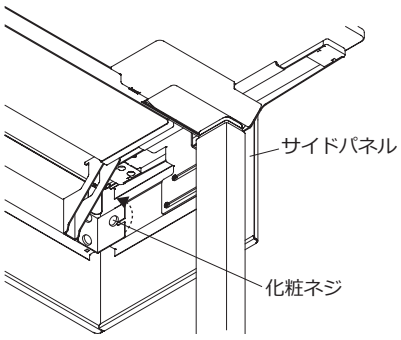
対向連結材（オプション）



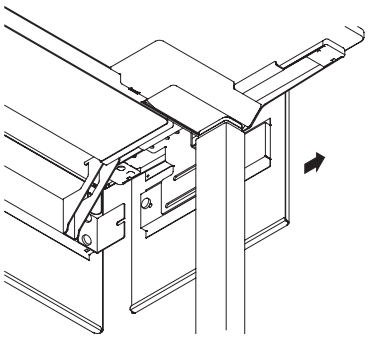
4. ご使用方法（続き）

サイドパネルのスライド方法について

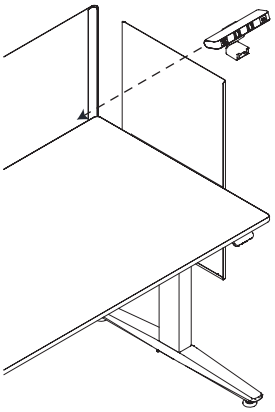
ラウンドタイプのパネルを取付時でも、サイドパネルをスライドさせることで横から配線を通したり、クランプオプションを取付けすることができます。



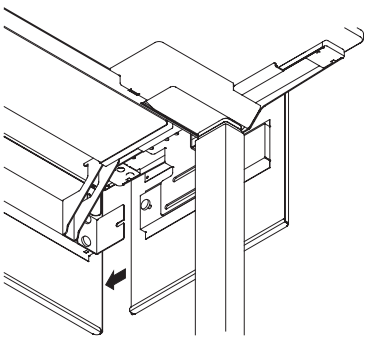
①サイドパネルの化粧ネジを緩めます。



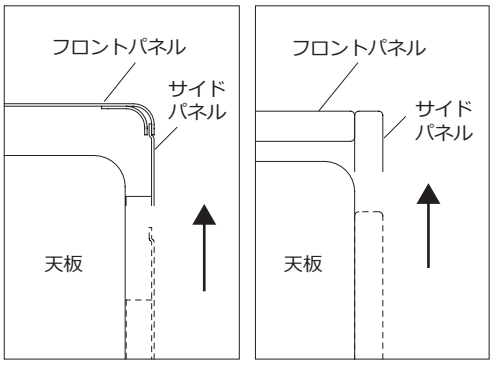
②サイドパネルを矢印方向にスライドさせます。

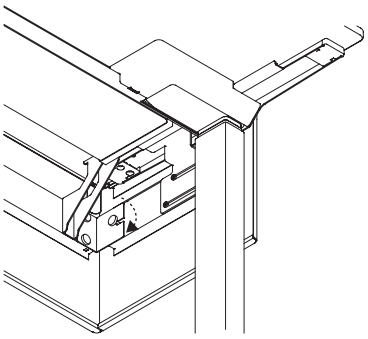


③クランプ金具やコンセントをパネル外側からスライドさせて設置します。



④サイドパネルを矢印方向にスライドし、連結材の溝に化粧ネジを差し込んで元の位置に戻します。





⑤化粧ネジを締めてサイドパネルを固定します。

配線トレーの着脱方法

平机の配線トレーはトレー2個と配線トレー取付金具L/R各1個で構成されています。（図1）
取り外し：配線トレー取付金具の矢印の部分L/R共に押し込んで天板裏の角孔から取り外します。（図2）
取り付け：天板裏の角孔に差し込み「カチッ」と音がするまで押し込みます。（図2）

図1.構成図

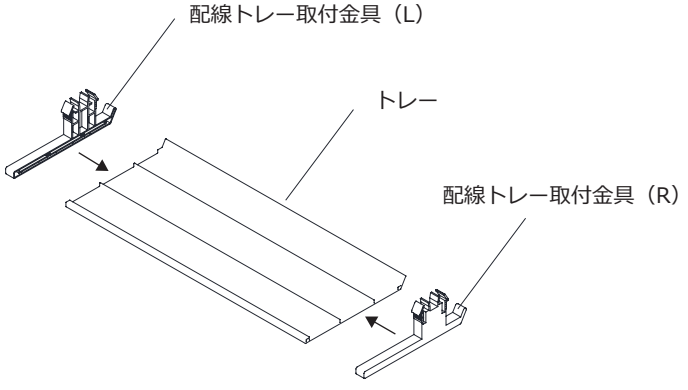
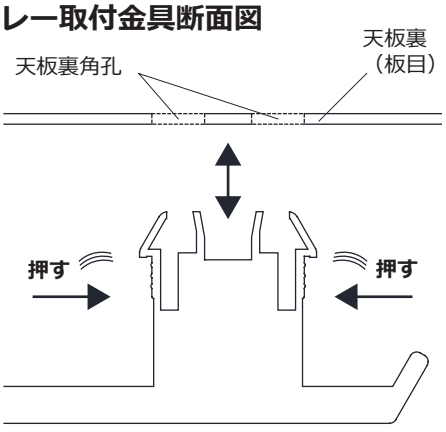


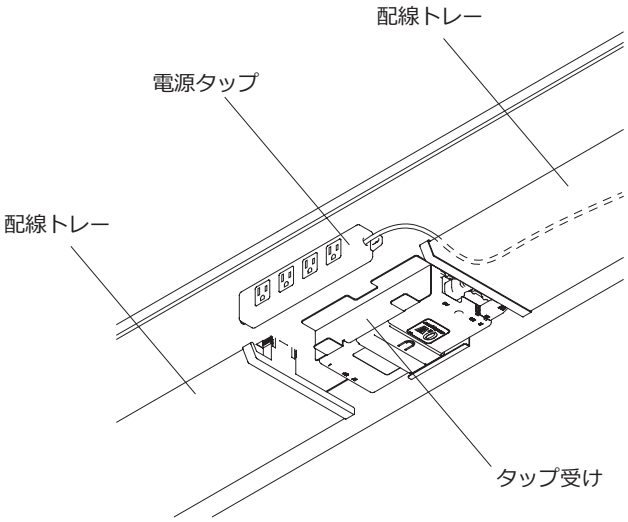
図2.配線トレー取付金具断面図

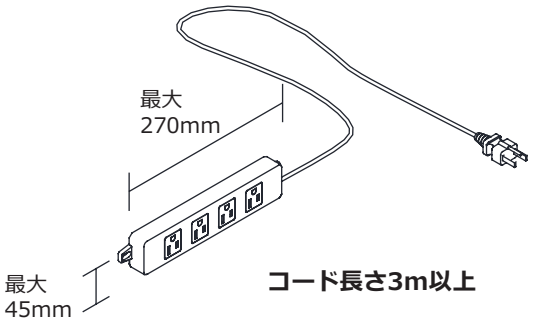


4. ご使用方法（続き）

平机の電源タップ設置方法

平机のレバースイッチと反対側にあるタップ受けに電源タップ（マグネット付）を取り付けます。
電源タップのコード余長は配線トレーの中に収納します。





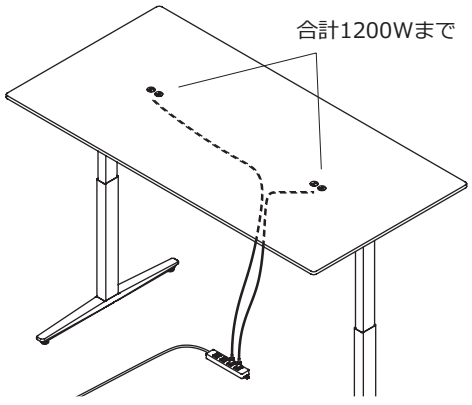
コード長さ3m以上

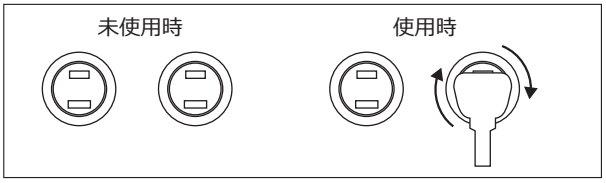
ご注意ください

お客様にて電源タップを準備する際は電源タップのサイズの確認をしてください。
最大値を越えるとタップ受けに取り付けが出来なくなります。

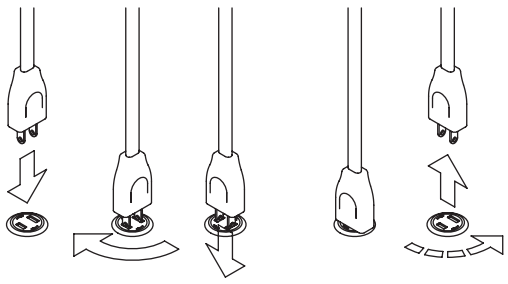
コンセント埋め込み天板（テーブル）について

定格電圧100V、定格電流15A、コード長さ3m
コンセント容量は合計1200Wまで





■取り付け方　**■取り外し方**



⚠警告



●容量オーバーは火災の原因となります。
●テーブルを移動する際は、必ず電源プラグを抜いてから移動してください。
コードが断線して感電や火災の原因となります。



●コンセントをぬらさないでください。感電や火災の原因になります。
●コンセント自体やプラグ抜き差しの際に過剰に力を加えないでください。

4. ご使用方法（続き）

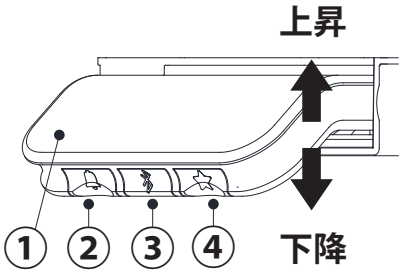
天板昇降及びスイッチの操作

スイッチを操作することにより、天板を昇降できます。また各種ボタンを押すことでリマインダー設定、Bluetooth接続、お気に入りの高さ登録ができます。

ご注意ください

天板昇降操作は1分を超えて連続操作しないでください。
1分間連続操作したときは１０分以上操作しないでください。故障の原因となります。

■スイッチの名称



各種ボタン	機能
①インジケータ	高さ、エラーコード、各種設定時のテキストが表示されます。
②リマインダーボタン	姿勢を変える時間をお知らせする設定ができます。
③Bluetooth接続ボタン	スマートフォンアプリ“Desk Connect”をお持ちの場合、スイッチとBluetooth接続することができます。
④高さ登録ボタン	お気に入りの高さを登録することができます。

（1）高さ表示の単位切替

高さ表示はcmまたはinchを選択することができます。

①★ボタンとボタンを同時に5秒間押すと、インジケータに現在の高さ単位が表示されます。
②レバーを傾けると、単位が変わります。
③いずれかのボタンを押すか、何も操作せず10秒待つと単位が確定されます。

（2）高さ表示の変更

インジケータに表示されている高さと実際のデスクの高さが一致していない場合、
表示されている高さを変更することができます。

①ボタンとボタンを同時に5秒間押すと、インジケータに高さが表示されます。
②レバーを上下に傾けると、天板高さが変わらず表示される高さだけが変わります。
③いずれかのボタンを押すか、何も操作せず10秒待つと単位が確定されます。

（3）天板の昇降操作方法と上限・下限設定

(3)-1　操作方法

①レバーを上に傾けると天板が上昇、下に傾けると下降します。
②停止させたい任意の位置で手を離すと止まります。

※最上限位置・最下限位置に達すると自動的に止まります。
スタンダードストローク　最下限位置：650mm　最上限位置：1250mm　下降時一時停止位置：720mm
ショートストローク　　最下限位置：720mm　最上限位置：1220mm

セーフティリバース機能が働くと、レバーを操作していても自動的に止まり、戻ります。
レバー操作時に誤ってボタンを同時に押すと止まります。

4. ご使用方法（続き）

（３）天板の昇降操作方法と上限・下限設定（続き）

(3)-2　天板の上限・下限設定

最上限位置・最下限位置の間で上限位置と下限位置を設定したい場合、
任意の位置に設定することができます。

上限位置の設定
①上限位置に設定したい位置まで天板を昇降させます。
②ボタンを押しながらレバーを上に傾けます。
③LEDライトが白い色で点滅し、その後点灯したら設定完了です。

下限位置の設定
①下限位置に設定したい位置まで天板を昇降させます。
②ボタンを押しながらレバーを下に傾けます。
③LEDライトが白い色で点滅し、その後点灯したら設定完了です。

※設定値をリセットする場合、(9)初期化(イニシャライズ)の方法　を行ったのち
　(8)スイッチの設定の初期化　を行ってください。

（４）リマインダーの設定と使い方

レバースイッチのLEDライトの色で姿勢を変える時間をお知らせすることができます。

（4）-1リマインダーの設定

①ボタンを押すとリマインダーが設定されます。
②ボタンを押して姿勢を変える時間間隔を変更することができます。
　リマインダーボタンから設定可能な時間間隔は以下になります。

　1時間（60分)あたり
　・座り姿勢時間：55分　立ち姿勢時間：5分
　・座り姿勢時間：50分　立ち姿勢時間：10分
　・座り姿勢時間：45分　立ち姿勢時間：15分
　・オフ
　　リマインダー機能を使用されない場合はオフに設定してください。
　　オフにするとLEDライトは点灯しません。
　　（高さ表示、エラーコード、テキストは表示されます。）

（4）-2リマインダーの使い方

①リマインダーを設定し、天板が座り姿勢の高さで設定時間内の場合は
　　LEDライトがゆっくり緑色で点滅します。
②座り姿勢時間が設定した時間を超えると、LEDライトがオレンジ色で点滅し、その後点灯します。
③天板高さを立ち姿勢にすると、LEDライトが緑色でゆっくり点滅します。
　※4時間何も操作されないとLEDライトは自動で停止します。
　　天板高さを座り姿勢の位置にするとLEDライトが緑色でゆっくり点滅します。

立ち姿勢と座り姿勢の判定方法はお気に入りの高さの登録数によって変化します。
・登録数が１つ、または未登録の場合
　デスクの高さが80cm以上で立ち姿勢、80cm未満で座り姿勢と判定されます。

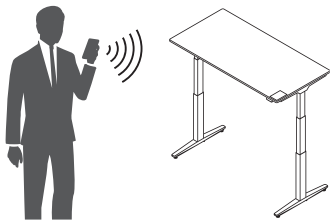
・登録数が２つ以上の場合
登録されている高さのうち、最も高い高さと最も低い高さの平均値以上で立ち姿勢、平均値未満で座り姿勢と判定されます。
　（例　70cmと100cmがお気に入りの高さ登録されている場合、85cm以上で立ち姿勢と判定されます。）

4. ご使用方法（続き）

（5）Bluetooth接続及び初期の設定方法

スマートフォンと電動昇降デスクを無線接続し、スマートフォンアプリ“Desk Connect”によって天板の昇降操作などをおこなうためのものです。

使用時は、スマートフォンのBluetooth® 機能をONにしてください。



■動作環境（2026年2月現在）

iOS版：iOS14.0以降
Android版：Android 11.0以降

※予告なく変更になる場合があります。

※スマートフォンの本操作については機種メーカーのサポートセンターにお問い合わせください。

(5)-1 “Desk Connect”アプリのダウンロード、及びインストール

↓下記のQRコードからもアクセス可能です。

iOS版

①Appleスマートフォンを利用して、App Storeにログインしてください。
②検索欄に“Desk Connect”と入力し、検索してください。
③“Desk Connect”アプリを選択し、スマートフォンにダウンロード、及びインストールしてください。

Android版

①Androidスマートフォンを利用して、Google Play ストアにログインしてください。
②検索欄に“Desk Connect”と入力してください。
③“Desk Connect”アプリを選択し、スマートフォンにダウンロード、及びインストールしてください。

(5)-2 2 “Desk Connect”アプリの主な機能及び操作方法

■主なアプリ機能

・昇降駆動
・高さ表示
・お気に入り高さ設定
・自動運転

■操作方法

詳しくは下記のQRコードより、取扱説明書ページにある操作説明書をご参照ください。

4. ご使用方法（続き）

（6）お気に入りの高さ機能の使い方

(6)-1 お気に入りの高さ登録

お気に入りの高さを最大4つ登録することができます。

①天板を昇降させて登録したい位置で止めます。
②★ボタンを押すと★1、★2、★3、★4の順に表示が切替わります。
③登録したい★番号で再度★ボタンを2秒間押すと表示が白く2回点滅した後点灯すると登録完了です。

(6)-2 お気に入りの高さへの昇降

お気に入りの高さを登録すると昇降時、お気に入りの高さで一旦止まるようになります。

①お気に入りの高さ登録後、レバーを傾け天板を昇降させます。
②登録した高さで一旦止まります。
③レバーから手を離すと登録した高さで止まります。

※続けて天板を昇降させる場合は
　②の後にレバーを傾け続けるか、③の後に再度レバーを傾けてください。

(6)-3 お気に入りの高さの消去

登録されているお気に入りの高さを消去することができます。

①★ボタンを長押ししてください。
②インジケータにカウントダウンが表示されますのでカウントダウンが終了するまで
　★ ボタンを押し続けてください。
③LEDが赤く点灯し全ての高さ登録が消去されます。

※登録されている高さの一部のみを消去することはできません。

（7）スイッチの設定の初期化

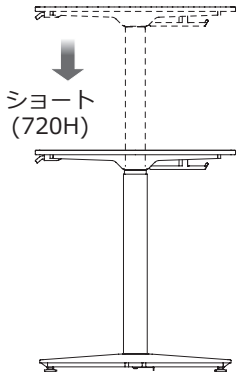
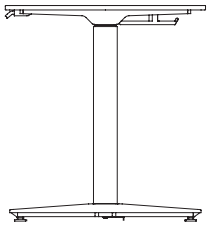
スイッチの設定を工場出荷状態に戻すことができます。

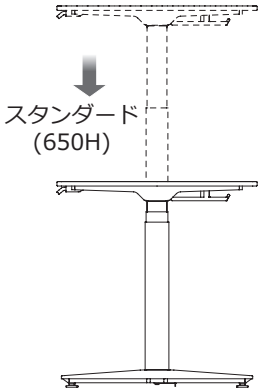
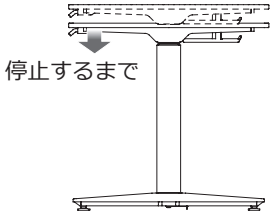
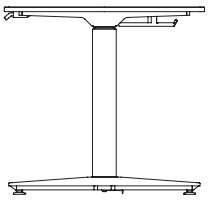
①🔔ボタンと★ボタンを長押しします。
②インジケータにカウントダウンが表示されますのでカウントダウンが終了するまで
　🔔ボタンと★ボタンを押し続けてください。
　スイッチやアプリで設定されたもののみ消去されます。

4. ご使用方法（続き）

（8）初期化（イニシャライズ）の方法

コンセントを抜き差しした後や停電後は、必ずこの操作を行ってください。

ショートストロークタイプ		
操作方法	①最小高さまで下降させます。 	②再度レバースイッチの下降ボタンを10秒程度長押しします。 ③昇降脚が動かなくなるまで下降すると初期化（イニシャライズ）が完了となります。 

スタンダードストロークタイプ			
操作方法	①最小高さまで下降させます。 	②再度レバースイッチの下降ボタンを10秒程度長押して、停止するまで下降させます。 	③再度レバースイッチの下降ボタンを10秒程度長押しします。 ④昇降脚が動かなくなるまで下降すると初期化（イニシャライズ）が完了となります。 

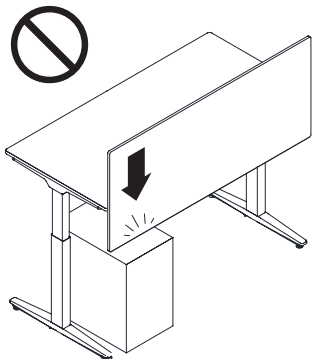
4. ご使用方法（続き）

セーフティリバース機能

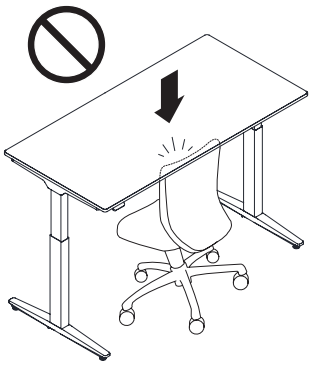
デスク・テーブルには昇降中に挟み込みを防止するための、セーフティリバース機能が搭載されています。昇降操作中に天板やパネルが対象物に接触して負荷がかかると、リバース装置が働き、自動で約3cm戻ります。操作中にセーフティリバース機能が働いた時には、天板下面や後面が対象物に接触していないか確認してください。

セーフティリバース機能が働く状況

●ワゴンを奥に入れ過ぎた状態で
操作をしてバックパネルと接触している



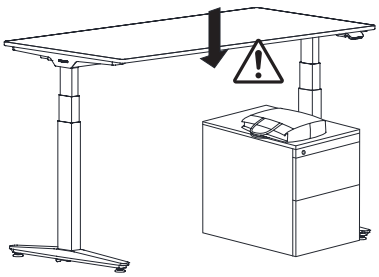
●椅子を天板下に入れた状態で
操作をして接触している。



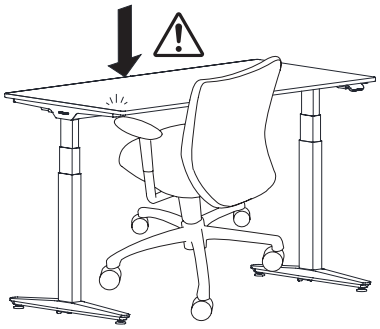
⚠ 警告

・セーフティリバース機能は、対象物や製品の破損を未然に防ぐための機能ですが、全ての条件下での作動を保証するものではありません。
・天板の昇降操作をする時には、周囲に接触するものが無いか必ず確認してから操作を行ってください。
※天板やバックパネルの下に置いてある対象物が鞄やクッションなど柔らかいものや、対象物の端だけが接触して、たわんだ状態のときなど、対象物に接触してもセーフティリバース機能が正しく働かない場合はすぐに操作を中止してください。

●対象物が鞄やクッションなど柔らかいとき
●厚手のカーペットなど柔らかい床材の場合

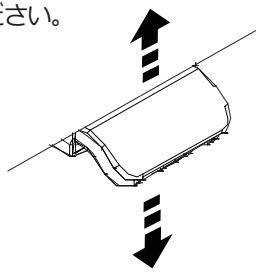


●対象物の先端のみが接触してたわんだ状態のとき



もしも挟まってしまったら

●デスクを持ち上げて、挟まっているものを取り除いてください。
●デスクが動かせない場合は、ボタンを小刻みに押して、天板をもどしてください。



4. ご使用方法（続き）

エラーコード一覧

エラーコード	検知内容	対処方法
E01	脚の位置情報が適切でないこと、 もしくは脚同士の位置情報の際を検知しました。	初期化を行ってください。 (初期化実行中にもこのコードが表示されます。)
E02	上昇を妨げる方向に、過負荷を検知しました。	負荷を取り除き、再度操作してください。
E03	下降を妨げる方向に、過負荷を検知しました。	
E08	予期しないリセットが発生しました。	初期化を行ってください。 初期化できない場合は電源プラグを抜き10秒以上経過 した後、再度電源プラグを差し込んだ後に初期化を 行ってください。
E09	スイッチの接続のエラーを検知しました。	昇降スイッチのケーブルが確実に接続されているか確認 し、初期化を行ってください。
E10	急激な電圧の低下を検知しました。	電源コードが確実に接続されているか確認してください。 電源プラグを抜き10秒以上経過した後、再度電源プラグ を差し込んだ後に初期化を行ってください。
E11	脚の接続数の変更を検知しました。	初期化を行ってください。モーターケーブルが 確実に接続されているか確認してください。
E12	可動域を超えた(異常な)位置情報を 検知しました。	初期化を行ってください。
E13	稼働中に回路のショートを検知しました。	モーターケーブルがきちんと接続されているか 確認してください。
E14	脚の位置情報が認識できません。	初期化を行ってください。
E15	電力の不足を検知しました。	コンセントがタコ足配線になっていないか 確認してください。
E16	不適切なキー操作(複数のボタンの同時に押し)を 検知しました。	昇降スイッチのボタンが押されたままに なっていないかを確認してください。 初期化を行ってください。
E17	安全装置が作動し、 下降のみ行える状態となっています。	初期化を行ってください。
E23	チャンネル1の昇降脚を検出できません。	モーターケーブルの挟み込みが無いか確認してください。 昇降ユニットが確実に接続されていることを確認の上、 初期化を行ってください。
E24	チャンネル2の昇降脚を検出できません。	
E25	チャンネル3の昇降脚を検出できません。	
E26	チャンネル4の昇降脚を検出できません。	
E27	チャンネル5の昇降脚を検出できません。	
E28	チャンネル6の昇降脚を検出できません。	
E29	チャンネル1の昇降脚の交換を検知しました。	モーターケーブルが確実に接続されていることを確認し、 初期化を行ってください。
E30	チャンネル2の昇降脚の交換を検知しました。	
E31	チャンネル3の昇降脚の交換を検知しました。	
E32	チャンネル4の昇降脚の交換を検知しました。	
E33	チャンネル5の昇降脚の交換を検知しました。	
E34	チャンネル6の昇降脚の交換を検知しました。	
E35	チャンネル1にパルスの異常を検知しました。	
E36	チャンネル2にパルスの異常を検知しました。	
E37	チャンネル3にパルスの異常を検知しました。	
E38	チャンネル4にパルスの異常を検知しました。	
E39	チャンネル5にパルスの異常を検知しました。	
E40	チャンネル6にパルスの異常を検知しました。	
E41	チャンネル1の昇降脚で、 上昇を妨げる方向の過負荷を検知しました。	障害物を取り除いてください。 負荷を取り除き、再度操作してください。
E42	チャンネル2の昇降脚で、 上昇を妨げる方向の過負荷を検知しました。	
E43	チャンネル3の昇降脚で、 上昇を妨げる方向の過負荷を検知しました。	
E44	チャンネル4の昇降脚で、 上昇を妨げる方向の過負荷を検知しました。	

4. ご使用方法（続き）

エラーコード一覧

エラーコード	検知内容	対処方法
E45	チャンネル5の昇降脚で、 上昇を妨げる方向の過負荷を検知しました。	障害物を取り除いてください。 負荷を取り除き、再度操作してください。
E46	チャンネル6の昇降脚で、 上昇を妨げる方向の過負荷を検知しました。	
E47	チャンネル1の昇降脚で、 下降を妨げる方向の過負荷を検知しました。	障害物を取り除いてください。
E48	チャンネル2の昇降脚で、 下降を妨げる方向の過負荷を検知しました。	
E49	チャンネル3の昇降脚で、 下降を妨げる方向の過負荷を検知しました。	
E50	チャンネル4の昇降脚で、 下降を妨げる方向の過負荷を検知しました。	
E51	チャンネル5の昇降脚で、 下降を妨げる方向の過負荷を検知しました。	
E52	チャンネル6の昇降脚で、 下降を妨げる方向の過負荷を検知しました。	
E53	チャンネル1の昇降脚で、 上昇を妨げる方向の過負荷を検知しました。	障害物を取り除いてください。 負荷を取り除き、再度操作してください。
E54	チャンネル2の昇降脚で、 上昇を妨げる方向の過負荷を検知しました。	
E55	チャンネル3の昇降脚で、 上昇を妨げる方向の過負荷を検知しました。	
E56	チャンネル4の昇降脚で、 上昇を妨げる方向の過負荷を検知しました。	
E57	チャンネル5の昇降脚で、 上昇を妨げる方向の過負荷を検知しました。	
E58	チャンネル6の昇降脚で、 上昇を妨げる方向の過負荷を検知しました。	
E59	チャンネル1の昇降脚で衝撃を検知しました。	障害物を取り除いてください。
E60	チャンネル2の昇降脚で衝撃を検知しました。	
E61	チャンネル3の昇降脚で衝撃を検知しました。	
E62	チャンネル4の昇降脚で衝撃を検知しました。	
E63	チャンネル5の昇降脚で衝撃を検知しました。	
E64	チャンネル6の昇降脚で衝撃を検知しました。	
E71	チャンネル1Aの回路のショートを検知しました。	
E72	チャンネル1Bの回路のショートを検知しました。	
E73	チャンネル2Aの回路のショートを検知しました。	
E74	チャンネル2Bの回路のショートを検知しました。	
E75	チャンネル3Aの回路のショートを検知しました。	
E76	チャンネル3Bの回路のショートを検知しました。	
E77	チャンネル4Aの回路のショートを検知しました。	
E78	チャンネル4Bの回路のショートを検知しました。	
E79	チャンネル5Aの回路のショートを検知しました。	
E80	チャンネル5Bの回路のショートを検知しました。	
E81	チャンネル6Aの回路のショートを検知しました。	
E82	チャンネル6Bの回路のショートを検知しました。	
E90	製品が高温であることを検知しました。	製品の温度が下がるまで操作はしないでください。 電源を差した状態で2時間放置してくだい。
E92	電圧が高すぎることを検知しました。	正しい電圧（100V）か確認してください。
E93	ジャイロセンサが作動しました。	製品にぐらつきがないことを確認してください。 障害物を取り除いてください。
E94	ジャイロセンサが検知できません。	ジャイロセンサが正しく刺さっていることを 確認してください。

5. お手入れ方法

日常のお手入れ

布部

- 布地を傷めないように柔らかいブラシでのブラッシングや表面を軽くはたくか、掃除機でほこりを吸い取ってください。
- 長期間のご使用で付着した手垢（皮脂）などの汚れには、薄めた中性洗剤溶液を柔らかい布に浸して固く絞って拭いてください。洗剤が残らないように水拭きで取り除き、さらにから拭きして乾燥させてください。
- アルカリ電解水を使用し汚れを除去する場合は、汚れに直接吹き掛け、布地を傷めないように柔らかいブラシで軽くブラッシングし、水分と汚れを拭き取った後、しばらく乾燥させてください。
- 油性のシミがついた場合は、速やかに専用のシミ抜き剤をつけ、軽く叩きながら、汚れを落としてください。最後に、固く絞った柔らかい布で水拭きをし、さらにから拭きをして乾燥させてください。素材によっては、汚れが落ちない場合があります。

ご注意ください

- 水分が付いたまま放置したり、シンナー、ベンジン等の有機溶剤、化学クロス等でのお手入れは行わないでください。万が一、変色したり、風合いが変わってしまった場合は、元には戻りませんのでご注意ください。
- 次亜塩素酸水は使用しないでください。表面が変色したり風合いが変わってしまう場合があります。

アルミ部・スチール部

- きれいな乾いた柔らかい布で、から拭きをしてください。
- 水分が付着した場合は、すぐに拭き取ってください。
- 埃や指紋（皮脂）は、放置せずに拭き取ってください。

樹脂部

- 固く絞った柔らかい布で水拭きをしてください。
- 汚れが目立つ場合は、薄めた中性洗剤溶液を柔らかい布に浸して絞ってから、拭き取ってください。洗剤が残らないように水拭きで取り除き、さらにから拭きをして乾燥させてください。

ご注意ください

- 強く擦らないでください。艶上がりが発生し、色味が変化します。汚れが落ちない場合は、手指消毒用アルコール剤を柔らかい布にしみこませ、拭きあげてください。
- アルカリ、酸性の洗浄剤は使用しないでください。
- 天板面を拭く際に洗浄剤が、化粧板（メラミン化粧板など）と縁材のすき間に染み込まないようにしてください。

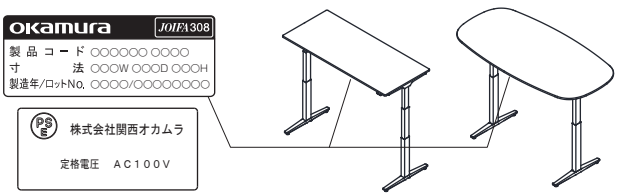
定期的なメンテナンスのお願い

- 使用中にボルトやねじのゆるみによるガタツキが生じた時は、増し締めしていただくのが長持ちさせる秘訣です。そのまま放置せず、早めの増し締めをしてください。

アフターメンテナンス

- 弊社では製品を長くお使いいただけるよう、定期的なメンテナンスやクリーニングを承っております。修理については(株)オカムラサポートアンドサービスまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 保証期間中の製品不具合については、無償にて対応させていただきます。保証する項目については裏表紙の保証の明細をご確認ください。
- 保証期間終了後も、修理により機能が維持できる場合は、有料にて修理を承っております。
- お問い合わせの際に必要な製品コードや製造ロット等は、この製品に貼ってある製品コードラベルに記載されています。ラベルは絶対に破ったり、傷つけたり、字を消したり、剥がしたりしないでください。

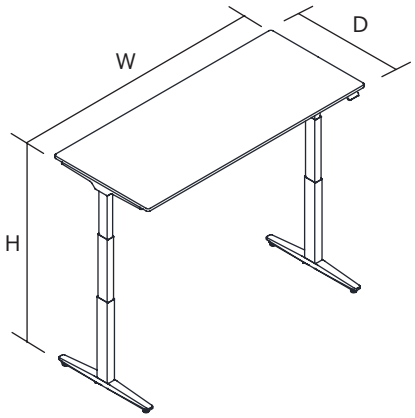
［製品コードラベルの貼り付け場所］
平机・テーブル：天板裏（手前）



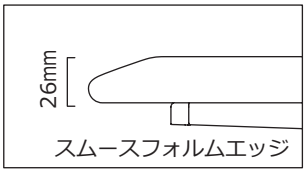
※PSE マーク　ミーティングテーブル　コンセント埋め込みのみ

6. 仕様

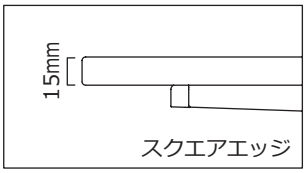
寸法・製品一覧（平机）



【天板エッジタイプ】



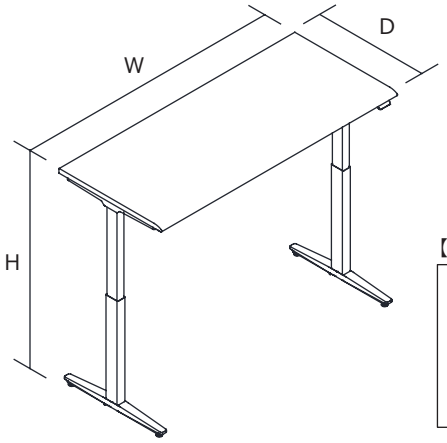
【天板エッジタイプ】



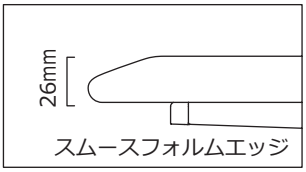
製品名	天板エッジタイプ	製品コード	寸法 (mm)		
			幅 (W)	奥行 (D)	高さ (H)
平机 スタンダード ストローク	スムースフォルム エッジ	342AAA	1750	775	650-1250
		342AAB	1550		
		342AAC	1450		
		342AAD	1350		
		342AAE	1150		
		342AAF	950		
		342AFA	1750	675	
		342AFB	1550		
		342AFC	1450		
		342AFD	1350		
		342AFE	1150		
		342AFF	950		
		342ALA	1750	575	
		342ALB	1550		
		342ALC	1450		
		342ALD	1350		
		342ALE	1150		
		342ALF	950		
	スクエアエッジ	342ACA	1750	775	650-1250
		342ACB	1550		
		342ACC	1450		
		342ACD	1350		
		342ACE	1150		
		342ACF	950		
		342AHA	1750	675	
		342AHB	1550		
		342AHC	1450		
		342AHD	1350		
		342AHE	1150		
		342AHF	950		
		342ANA	1750	575	
		342ANB	1550		
		342ANC	1450		
		342AND	1350		
		342ANE	1150		
		342ANF	950		

6. 仕様（続き）

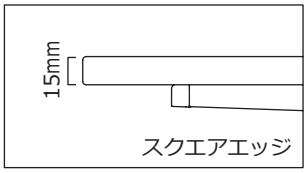
寸法・製品一覧（平机）続き



【天板エッジタイプ】



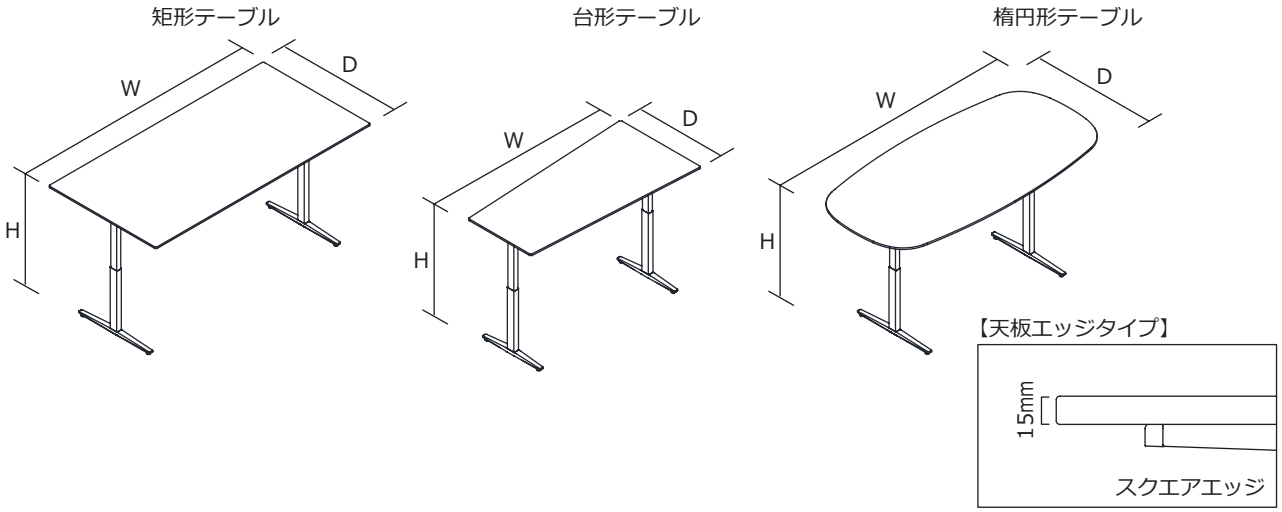
【天板エッジタイプ】



製品名	天板エッジタイプ	製品コード	寸法 (mm)		
			幅 (W)	奥行 (D)	高さ (H)
平机 ショートストローク	スムースフォルム エッジ	342BAA	1750	775	720-1220
		342BAB	1550		
		342BAC	1450		
		342BAD	1350		
		342BAE	1150		
		342BAF	950		
		342BFA	1750	675	
		342BFB	1550		
		342BFC	1450		
		342BFD	1350		
		342BFE	1150		
		342BFF	950		
		342BLA	1750	575	
		342BLB	1550		
		342BLC	1450		
		342BLD	1350		
		342BLE	1150		
		342BLF	950		
	スクエアエッジ	342BCA	1750	775	720-1220
		342BCB	1550		
		342BCC	1450		
		342BCD	1350		
		342BCE	1150		
		342BCF	950		
		342BHA	1750	675	
		342BHB	1550		
		342BHC	1450		
		342BHD	1350		
		342BHE	1150		
		342BHF	950		
		342BNA	1750	575	
		342BNB	1550		
		342BNC	1450		
		342BND	1350		
		342BNE	1150		
		342BNF	950		

6. 仕様（続き）

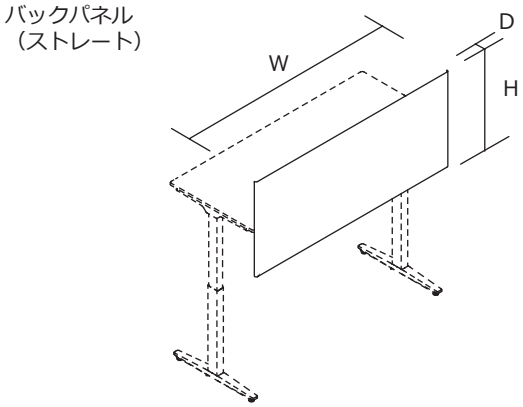
寸法・製品一覧（テーブル）



製品名	天板エッジタイプ	製品コード	寸法（mm）		
			幅（W）	奥行（D）	高さ（H）
矩形テーブル（配線口なし）ショートストローク	スクエアエッジ	342HAA	2400	1200	720-1220
		342HAB	2100	1100	
		342HAC	1800	900	
		342HAD	1500	750	
矩形テーブル（配線口あり）ショートストローク		342HCA	2400	1200	
		342HCB	2100	1100	
		342HCC	1800	900	
		342HCD	1500	750	
矩形テーブル（コンセント埋め込み）ショートストローク		342HFA	2400	1200	
		342HFB	2100	1100	
		342HFC	1800	900	
		342HFD	1500	750	
台形テーブル（配線口なし）ショートストローク		342HHC	1800	900	
台形テーブル（配線口あり）ショートストローク		342HLC	1800	900	
台形テーブル（コンセント埋め込み）ショートストローク		342HNC	1800	900	
楕円形テーブル（配線口なし）ショートストローク		342HSA	2400	1200	
		342HSB	2100	1100	
		342HSC	1800	900	
楕円形テーブル（配線口あり）ショートストローク		342HVA	2400	1200	
		342HVB	2100	1100	
		342HVC	1800	900	
楕円形テーブル（コンセント埋め込み）ショートストローク		342HXA	2400	1200	
		342HXB	2100	1100	
		342HXC	1800	900	

6. 仕様（続き）

寸法・製品一覧（平机・ベンチ用オプション）

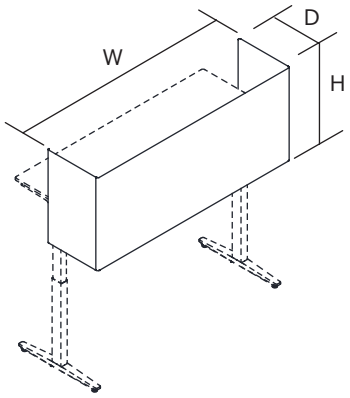


製品名	タイプ	製品コード	寸法（mm）		
			幅 (W)	奥行 (D)	高さ (H)
バックパネル（クロス・フェルト）	ストレート	3460AA	1750	14	660
		3460AB	1550		
		3460AC	1450		
		3460AD	1350		
		3460AE	1150		
		3460AF	950		
バックパネル（スチール）		3460CA	1750	15	
		3460CB	1550		
		3460CC	1450		
		3460CD	1350		
		3460CE	1150		
		3460CF	950		

6. 仕様（続き）

寸法・製品一覧（平机・ベンチ用オプション）続き

バックパネル
（ラウンド）

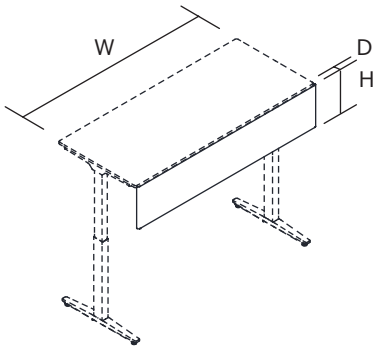


製品名	タイプ	製品コード	寸法（mm）		
			幅（W）	奥行（D）	高さ（H）
バックパネル（クロス・フェルト）	ラウンド	3461AA	1778	462	660
		3461AB	1578		
		3461AC	1478		
		3461AD	1378		
		3461AE	1178		
		3461AF	978		
		3461FA	1778	412	
		3461FB	1578		
		3461FC	1478		
		3461FD	1378		
		3461FE	1178		
		3461FF	978		
		3461LA	1778	362	
		3461LB	1578		
		3461LC	1478		
		3461LD	1378		
		3461LE	1178		
		3461LF	978		
バックパネル（スチール）		3461CA	1780	462	
		3461CB	1580		
		3461CC	1480		
		3461CD	1380		
		3461CE	1180		
		3461CF	980		
		3461HA	1780	412	
		3461HB	1580		
		3461HC	1480		
		3461HD	1380		
		3461HE	1180		
		3461HF	980		
		3461NA	1780	362	
		3461NB	1580		
		3461NC	1480		
		3461ND	1380		
		3461NE	1180		
		3461NF	980		

6. 仕様（続き）

寸法・製品一覧（平机・ベンチ用オプション）続き

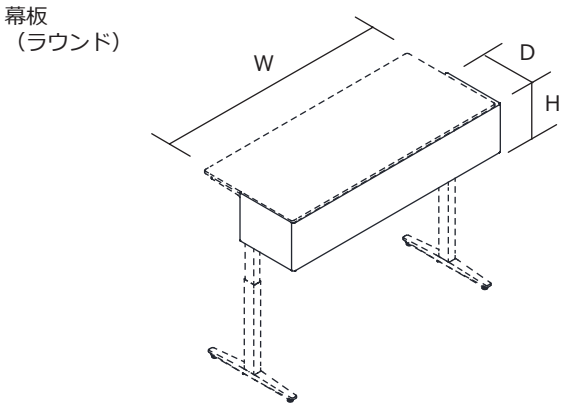
幕板
（ストレート）



製品名	タイプ	製品コード	寸法（mm）		
			幅 (W)	奥行 (D)	高さ (H)
幕板 （クロス・フェルト）	ストレート	3480AA	1750	14	310
		3480AB	1550		
		3480AC	1450		
		3480AD	1350		
		3480AE	1150		
		3480AF	950		
幕板 （スチール）		3480CA	1750	15	
		3480CB	1550		
		3480CC	1450		
		3480CD	1350		
		3480CE	1150		
		3480CF	950		

6. 仕様（続き）

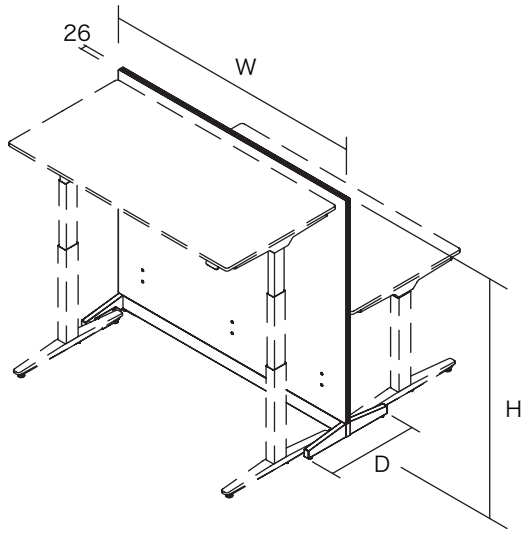
寸法・製品一覧（平机・ベンチ用オプション）続き

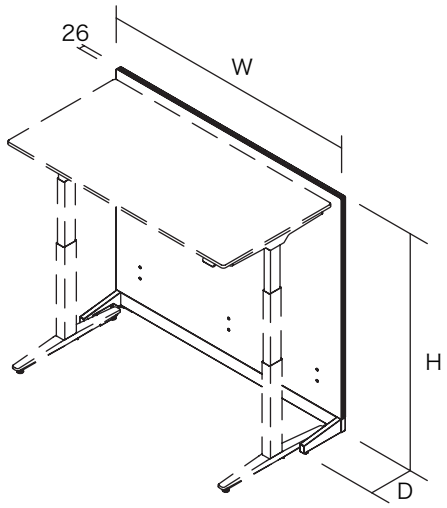


製品名	タイプ	製品コード	寸法 (mm)		
			幅 (W)	奥行 (D)	高さ (H)
幕板 （クロス・フェルト）	ラウンド	3481AA	1780	462	310
		3481AB	1580		
		3481AC	1480		
		3481AD	1380		
		3481AE	1180		
		3481AF	980		
		3481FA	1780	412	
		3481FB	1580		
		3481FC	1480		
		3481FD	1380		
		3481FE	1180		
		3481FF	980		
		3481LA	1780	362	
		3481LB	1580		
		3481LC	1480		
		3481LD	1380		
		3481LE	1180		
		3481LF	980		
幕板 （スチール）		3481CA	1780	462	
		3481CB	1580		
		3481CC	1480		
		3481CD	1380		
		3481CE	1180		
		3481CF	980		
		3481HA	1780	412	
		3481HB	1580		
		3481HC	1480		
		3481HD	1380		
		3481HE	1180		
		3481HF	980		
		3481NA	1780	362	
		3481NB	1580		
		3481NC	1480		
		3481ND	1380		
		3481NE	1180		
		3481NF	980		

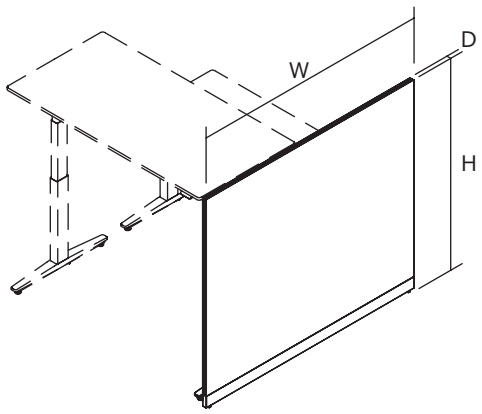
6. 仕様（続き）

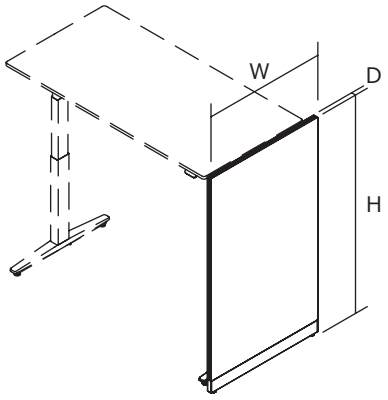
寸法・製品一覧（平机用オプション）続き





製品名	タイプ	製品コード	寸法 (mm)		
			幅 (W)	奥行 (D)	高さ (H)
フロアパネル 平机用	クロス　両面用	3462EA	1800	485	1270
		3462EB	1600		
		3462EC	1500		
		3462ED	1400		
		3462EE	1200		
		3462EF	1000		
	クロス　片面用	3462GA	1800	256	
		3462GB	1600		
		3462GC	1500		
		3462GD	1400		
		3462GE	1200		
		3462GF	1000		

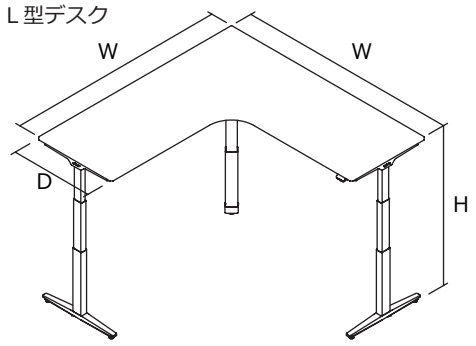


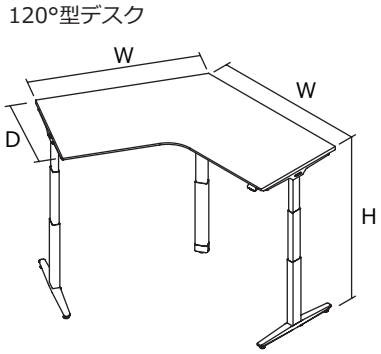


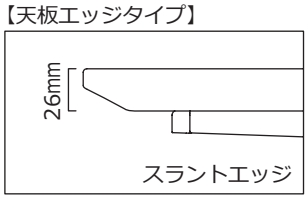
製品名	タイプ	製品コード	寸法 (mm)		
			幅 (W)	奥行 (D)	高さ (H)
エンドパネル 平机用	クロス　両面用	3462AA	1650	26	1270
		3462AB	1450		
		3462AC	1250		
	クロス　片面用	3462BA	823		
		3462BB	723		
		3462BC	623		

6. 仕様（続き）

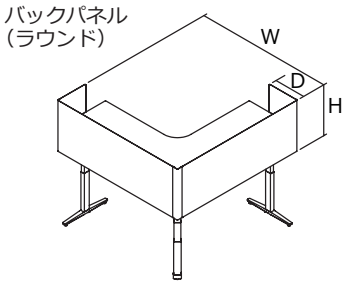
寸法・製品一覧（L型デスク・120°型デスク）

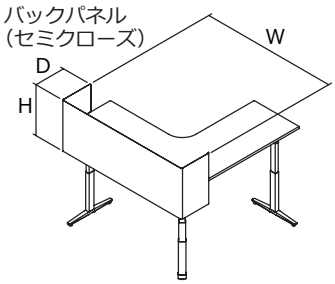


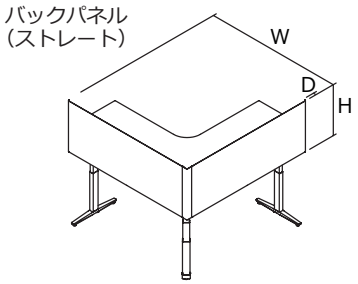




製品名	天板エッジタイプ	製品コード	寸法（mm）		
			幅 (W)	奥行 (D)	高さ (H)
L 型デスク	スラントエッジ	342GGA	1750	675	650-1250
		342GGB	1550		
１２０°型デスク		342GGE	1150		







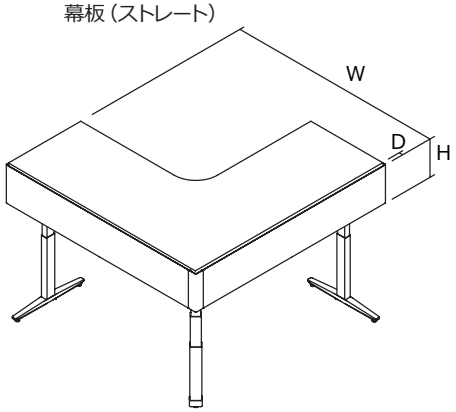
製品一覧（L型・120度型デスク用オプション）

製品名	タイプ	製品コード	寸法（mm）		
			幅 (W)	奥行 (D)	高さ (H)
バックパネル L型タイプ用（クロス・フェルト）	ストレート	3463AA	1750	14	660
		3463AB	1550		
バックパネル L型タイプ用（スチール）		3463CA	1750	15	
		3463CB	1550		
バックパネル　120°型タイプ用（クロス・フェルト）		3463AE	1150	14	
バックパネル　120°型タイプ用（スチール）		3463CE	1150	15	
バックパネル L型タイプ用（クロス・フェルト）	セミクローズ	3465FA	1750	412	
		3465FB	1550		
バックパネル L型タイプ用（スチール）		3465HA	1750		
		3465HB	1550		
バックパネル　120°型タイプ用（クロス・フェルト）	ラウンド	3464FA	1750		
		3464FB	1550		
バックパネル　120°型タイプ用（スチール）		3464HA	1750		
		3464HB	1550		
バックパネル　120°型タイプ用（クロス・フェルト）		3464FE	1150		
バックパネル　120°型タイプ用（スチール）		3464HE			

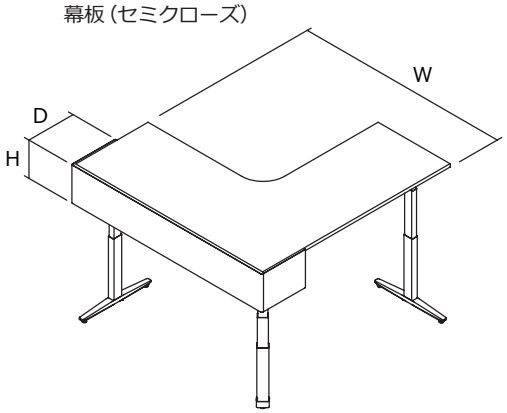
6. 仕様（続き）

寸法・製品一覧（L型デスク・120°型デスク用オプション）

幕板（ストレート）



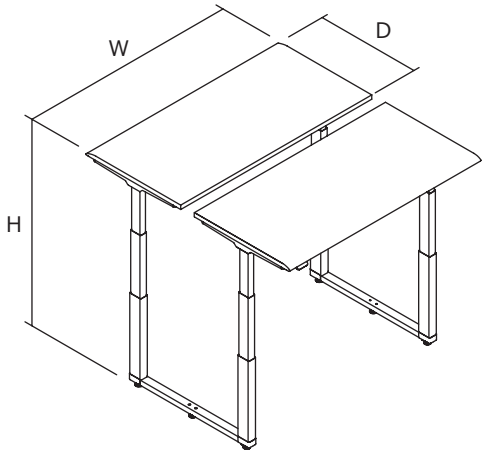
幕板（セミクローズ）



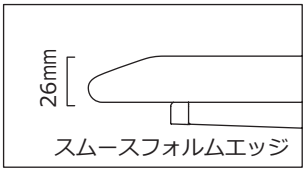
製品名	タイプ	製品コード	寸法（mm）		
			幅（W）	奥行（D）	高さ（H）
幕板 L型タイプ用（クロス・フェルト）	ストレート	3486AA	1750	14	310
		3486AB	1550		
幕板 L型タイプ用（スチール）		3486CA	1750	15	
		3486CB	1550		
幕板 120°型タイプ用（クロス・フェルト）		3486AE	1150	14	
幕板 120°型タイプ用（スチール）		3486CE	1150	15	
幕板 L型タイプ用（クロス・フェルト）	セミクローズ	3485FA	1750	412	
		3485FB	1550		
幕板 L型タイプ用（スチール）		3485HA	1750		
		3485HB	1550		

6. 仕様（続き）

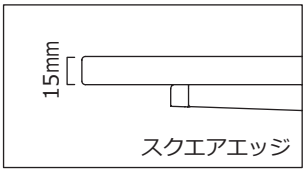
寸法・製品一覧（ベンチ）



【天板エッジタイプ】



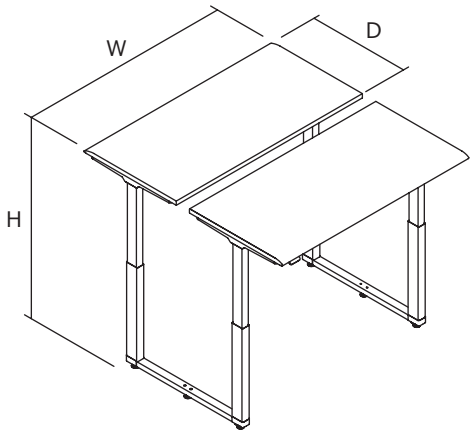
【天板エッジタイプ】



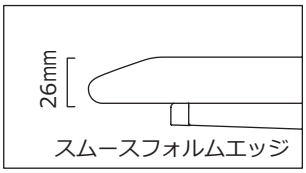
製品名	天板エッジタイプ	製品コード	寸法 (mm)		
			幅 (W)	奥行 (D)	高さ (H)
ベンチ スタンダード ストローク	スムースフォルム エッジ	342EAA	1750	775	650-1250
		342EAB	1550		
		342EAC	1450		
		342EAD	1350		
		342EAE	1150		
		342EFA	1750	675	
		342EFB	1550		
		342EFC	1450		
		342EFD	1350		
		342EFE	1150		
		342ELA	1750	575	
		342ELB	1550		
		342ELC	1450		
		342ELD	1350		
		342ELE	1150		
	スクエアエッジ	342ECA	1750	775	
		342ECB	1550		
		342ECC	1450		
		342ECD	1350		
		342ECE	1150		
		342EHA	1750	675	
		342EHB	1550		
		342EHC	1450		
		342EHD	1350		
		342EHE	1150		
		342ENA	1750	575	
		342ENB	1550		
		342ENC	1450		
		342END	1350		
		342ENE	1150		

6. 仕様（続き）

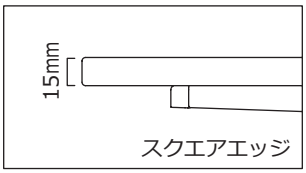
寸法・製品一覧（ベンチ）



【天板エッジタイプ】



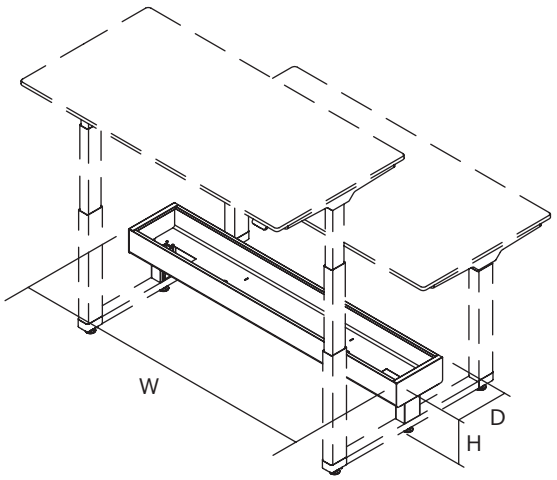
【天板エッジタイプ】



製品名	天板エッジタイプ	製品コード	寸法（mm）		
			幅 (W)	奥行 (D)	高さ (H)
ベンチ ショートストローク	スムースフォルム エッジ	342FAA	1750	775	720-1220
		342FAB	1550		
		342FAC	1450		
		342FAD	1350		
		342FAE	1150		
		342FFA	1750	675	
		342FFB	1550		
		342FFC	1450		
		342FFD	1350		
		342FFE	1150		
		342FLA	1750	575	
		342FLB	1550		
		342FLC	1450		
		342FLD	1350		
		342FLE	1150		
	スクエアエッジ	342FCA	1750	775	
		342FCB	1550		
		342FCC	1450		
		342FCD	1350		
		342FCE	1150		
		342FHA	1750	675	
		342FHB	1550		
		342FHC	1450		
		342FHD	1350		
		342FHE	1150		
		342FNA	1750	575	
		342FNB	1550		
		342FNC	1450		
		342FND	1350		
		342FNE	1150		

6. 仕様（続き）

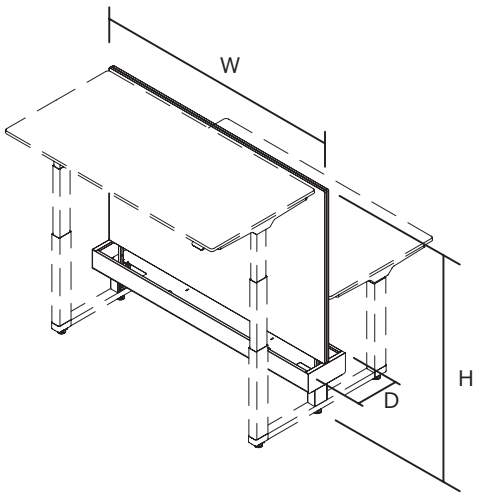
寸法・製品一覧（ベンチ用オプション）



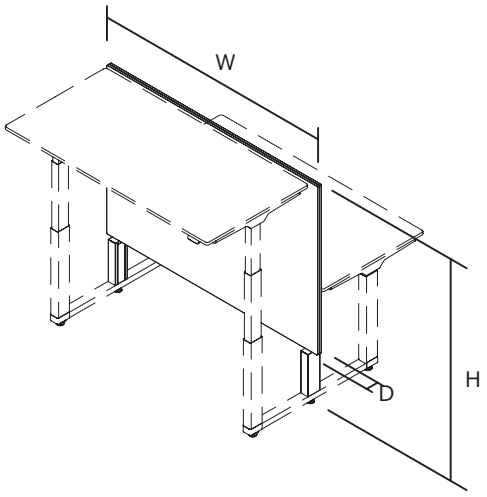
製品名	タイプ	製品コード	寸法 (mm)		
			幅 (W)	奥行 (D)	高さ (H)
配線ダクトベンチ用	スタート用	3495AA	1800	240	300
		3495AB	1600		
		3495AC	1500		
		3495AD	1400		
		3495AE	1200		
	コネクト用	3495BA	1800		
		3495BB	1600		
		3495BC	1500		
		3495BD	1400		
		3495BE	1200		

6. 仕様（続き）

寸法・製品一覧（ベンチ用オプション）続き



製品名	タイプ	製品コード	寸法 (mm)		
			幅 (W)	奥行 (D)	高さ (H)
配線ダクト付き センターパネル	クロス スタート用	3495EA	1800	240	1270
		3495EB	1600		
		3495EC	1500		
		3495ED	1400		
		3495EE	1200		
	クロス コネクト用	3495FA	1800		
		3495FB	1600		
		3495FC	1500		
		3495FD	1400		
		3495FE	1200		



製品名	タイプ	製品コード	寸法 (mm)		
			幅 (W)	奥行 (D)	高さ (H)
センターパネル	クロス	3495JA	1800	80	1270
		3495JB	1600		
		3495JC	1500		
		3495JD	1400		
		3495JE	1200		

6. 仕様（続き）

主な材質と表面加工

平机 ・ L 型／ 120°型デスク／ベンチタイプ

部　位		主な材質	表面加工
天板（平机）	表面材	高圧メラミン化粧板	ー
	縁材	ABS樹脂	ー
	芯材	金属（鋼）/MDF	ポリエステル樹脂塗装 またはアミノアルキド樹脂塗装
天板（L型／120°型デスク）	表面材	高圧メラミン化粧板	ー
	縁材	ABS樹脂	ー
	芯材	MDF	ー
上部アーム	本体	金属（鋼）	ポリエステル樹脂塗装 またはアミノアルキド樹脂塗装
	先端キャップ	ABS樹脂	ー
	ハウジングカバー	ABS樹脂	ー
ビーム		金属（鋼）	ポリエステル樹脂塗装 またはアミノアルキド樹脂塗装
昇降ユニット	本体	金属（鋼）	ポリエステル樹脂塗装 またはアミノアルキド樹脂塗装
下部アーム	本体	金属（鋼）	ポリエステル樹脂塗装 またはアミノアルキド樹脂塗装
	先端キャップ	ABS樹脂	ー
	アジャスター	ポリプロピレン	ー
	左右スペーサー	金属（鋼）	ポリエステル樹脂塗装 またはアミノアルキド樹脂塗装
配線トレー	トレー本体	塩化ビニール樹脂	ー
	取付金具	ABS樹脂	ー
タップ受け	本体	金属（鋼）	ポリエステル樹脂塗装 またはアミノアルキド樹脂塗装
	コントロールボックス受け	ポリプロピレン	ー
配線受け（L型/120°型デスク）		金属（鋼）	ポリエステル樹脂塗装 またはアミノアルキド樹脂塗装

テーブル

部　位		主な材質	表面加工
天板	表面材	高圧メラミン化粧板	ー
	縁材	ABS樹脂	ー
	芯材	金属（鋼）/MDF	ポリエステル樹脂塗装 またはアミノアルキド樹脂塗装
上部アーム	本体	金属（鋼）	ポリエステル樹脂塗装 またはアミノアルキド樹脂塗装
	先端キャップ	ABS樹脂	ー
ビーム・ビームカバー		金属（鋼）	ポリエステル樹脂塗装 またはアミノアルキド樹脂塗装
昇降ユニット	本体	金属（鋼）	ポリエステル樹脂塗装 またはアミノアルキド樹脂塗装
下部アーム	本体	金属（鋼）	ポリエステル樹脂塗装 またはアミノアルキド樹脂塗装
	先端キャップ	ABS樹脂	ー
	アジャスター	ポリプロピレン	ー
配線カバー	表面材	高圧メラミン化粧板	ー
	芯材	MDF	ー
配線トレーA		金属（鋼）	ポリエステル樹脂塗装 またはアミノアルキド樹脂塗装
配線トレーB	本体	金属（鋼）	ポリエステル樹脂塗装 またはアミノアルキド樹脂塗装
	コントロールボックス受け	ポリプロピレン	ー
	プッシュプルリベット	ポリアセタール	ー
エンドカバー		金属（鋼）	ポリエステル樹脂塗装 またはアミノアルキド樹脂塗装

6. 仕様（続き）

主な材質と表面加工（続き）

オプション

部　位		主な材質	表面加工
中央引き出し	本体	金属（鋼）	ポリエステル樹脂塗装 またはアミノアルキド樹脂塗装
	レール枠	金属（鋼）	ポリエステル樹脂塗装 またはアミノアルキド樹脂塗装
	サイドキャップ	ABS樹脂	ー
フェルトケース	ケース本体	PET	ー
	取付金具	金属（鋼）	ポリエステル樹脂塗装 またはアミノアルキド樹脂塗装
PC・カバン収納		金属（鋼）	ポリエステル樹脂塗装 またはアミノアルキド樹脂塗装
ケーブルガイド	本体	ポリプロピレン	ー
	取付金具	金属（鋼）	ポリエステル樹脂塗装 またはアミノアルキド樹脂塗装
ケーブルガイド（メッシュ）		ポリエステル	ー
カールコード縦ダクト		金属（鋼）	ポリエステル樹脂塗装 またはアミノアルキド樹脂塗装
立上げ配線ダクト	取付金具	金属（鋼）	ポリエステル樹脂塗装 またはアミノアルキド樹脂塗装
	本体	ポリプロピレン	ー
対向連結材		金属（鋼）	ポリエステル樹脂塗装 またはアミノアルキド樹脂塗装
バックパネル・幕板 （クロス）	クロス	ポリエステル	ー
	芯材	合板	ー
バックパネル・幕板 （フェルト）	フェルト	PET	ー
	芯材	合板	ー
バックパネル・幕板 （スチール）	本体	金属（鋼）	ポリエステル樹脂塗装 またはアミノアルキド樹脂塗装
フロアパネル	クロス	ポリエステル	ー
	芯材	合板	ー
	巾木	金属（鋼）	ポリエステル樹脂塗装 またはアミノアルキド樹脂塗装
エンドパネル	クロス	ポリエステル	ー
	芯材	合板	ー
	巾木	金属（鋼）	ポリエステル樹脂塗装 またはアミノアルキド樹脂塗装
配線ダクト（ベンチ用）	本体	金属（鋼）	ポリエステル樹脂塗装 またはアミノアルキド樹脂塗装
配線ダクト付き センターパネル	クロス	ポリエステル	ー
	芯材	合板	ー
	配線ダクト本体	金属（鋼）	ポリエステル樹脂塗装 またはアミノアルキド樹脂塗装
センターパネル	クロス	ポリエステル	ー
	芯材	合板	ー
	支柱	金属（鋼）	ポリエステル樹脂塗装 またはアミノアルキド樹脂塗装

※改良のため予告なく変更を行う場合もありますのでご了承ください。

6. 仕様（続き）

スペック

最大積載質量

製品名	部位	最大積載質量（※等分布質量）
平机	天板	60Kg
L型・120°型デスク	天板	60Kg
テーブル	天板	60Kg
ベンチ	天板	60Kg

※等分布質量とは・・・

天板等に均等に質量をのせることを意味します。部分的に偏った質量をのせるとバランスが崩れ、落下や転倒の恐れがあります。

電気部品仕様

製品名	部位	定格電圧	定格消費電力	定格周波数
平机　スタンダードストローク	コントロールボックス	100V	300W	50/60Hz
平机　ショートストローク	コントロールボックス	100V	300W	50/60Hz
L型・120°型デスク	コントロールボックス	100V	450W	50/60Hz
テーブル　ショートストローク	コントロールボックス	100V	300W	50/60Hz
テーブル（コンセント埋め込み）	埋め込みコンセント	100V	300W	50/60Hz共有
ベンチ　スタンダードストローク	コントロールボックス	100V	300W	50/60Hz
ベンチ　ショートストローク	コントロールボックス	100V	300W	50/60Hz

保証の明細

家具の無償保証は、通常の補修（メンテナンス）が行われていることが前提となります。
保証期間中の製品不具合については、部品の交換等の修理にて対応させていただきます。

保証する項目について

保証期間は、一般社団法人日本オフィス家具協会（JOIFA）の「オフィス家具－製品安全基準のガイドライン」に基づいております。一般のオフィスにおいて、通常の執務状態（１日８時間程度）で使用した場合を想定して定められたものです。保証期間は、購入日から起算して項目ごとに下表の通りです。

項目		内容	保証期間
JOIFAガイドラインに基づいた保証	外観・表面仕上げ	塗装及び樹脂部品の変色・褪色、レザー・クロスの摩耗	１年
	機構部・可動部	引出し・スライド機構、扉の開閉、昇降機構等の故障	２年
	構造体	強度・構造体にかかわる破損	３年
電気的な故障に関する保証	電気器具	電気錠、照明、USB コンセント、コンセントソケット、スイッチ、センサー	１年

※保証期間内でも、次の場合は有料となります。

・購入履歴（購入年月日・購入者名・販売店名）の提示がない
・中古品・譲渡品・個人売買品
・製品コードラベルの剥離・汚損などにより、製品コードや製造ロット等の識別ができない
・弊社に責のない外部要因（天災地変・火災・異常電圧等）に起因する故障及び破損
・日本国以外で使用する場合（公海上を含む）
・24時間・年中無休での業務や、これに準ずる過酷な使われ方をする所（消防・警察・鉄道・各業種の監視室・警備室・新聞社・TV局・学生寮・病院等の該当エリア）で使用している
・高温・多湿・著しい温度変化がある場所等異常な環境下で使用・保管している
・設置後の移動やお客様の運搬による故障及び破損
・弊社発行の説明書に従って組み立てられていない
・弊社発行の取扱説明書に従って使用されていない
・使用方法において、お客様の過失が認められる
・可動部の動作音（椅子のリクライニング等）
・消耗品（キャスター・脚端・フェルト・肘パッド・電球・電池・バッテリー等）
・使用時の手垢・埃等の汚れによる仕上げ表面の変化
・通常使用により生じる異音・変形・キズ・錆・カビや、接触や摩耗による変色・褪色等。
・天然材料（木・革・その他）における色目、木目・節・しわ・傷等の質感の違い
・表面素材（張地・樹脂・塗装・その他）における色目・縫い・光沢等の質感の違い

修理部品の供給期間について

修理部品は製品の製造中止後5年間保有しております。但し、単一部材で構成される製品や、適正な価格・納期でお客様に供給できない部品は、除外させていただきますのでご了承ください。

JOIFA 標準使用期間について

日本オフィス家具協会（JOIFA）では、消費生活用製品安全法の主旨に合わせ、一定の使用条件で、安全上支障なく、ご使用できる期間として、自主的に『JOIFA標準使用期間』を設定しました。
この期間は、注意を喚起することが目的で、製品の無償保証期間ではありません。通常、JOIFA標準使用期間を過ぎると摩耗や経年変化による故障が増大することが考えられます。
その場合には、点検・整備や部品交換で継続使用していただくか、ご使用に耐えない場合には買い替えをお薦めさせていただく場合もあります。
詳しくは、日本オフィス家具協会（JOIFA）ホームページをご覧ください。
https://www.joifa.or.jp/

製品の廃棄について

不要となった製品の廃棄は、法令によりお客様が適切に処理する責任があります。廃棄の際は、法令に従った適切な廃棄処理をお願いします。廃棄に関するご質問は、管轄する地方自治体にお問い合わせください。

okamura

株式会社オカムラ
横浜市西区北幸 1-4-1 天理ビル
https://okamura.co.jp/

修理に関するご用命は	製品に関するご質問は
オカムラサポートアンドサービス	**お客様相談室**
フリーダイヤル 0120-448-105	フリーダイヤル 0120-81-9060
受付時間 24H 受付（無休）	受付時間 9:00-17:00（土・日・祝日を除く）
お問い合わせの際、あらかじめ製品番号をご確認いただけると、ご案内がスムーズです。	

12／G2XBF4／2026-03